

令和8年第2回野辺地町議会

定例会会議録

招集年月日 令和8年2月24日(火)

招集場所 野辺地町議会議場

開会(開議) 令和8年3月4日(水)午前9時30分

出席議員(12名)

1番	横 浜 睦 成	2番	高 沢 陽 子
3番	木 戸 忠 勝	4番	村 中 玲 子
5番	五十嵐 勝 弘	6番	戸 澤 栄
7番	古 林 輝 信	8番	中 谷 謙 一
9番	野 坂 充	10番	大 湊 敏 行
11番	赤 垣 義 憲	12番	岡 山 義 廣

欠席議員(なし)

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職・氏名

町	長	野 村 秀 雄
副	町 長	江 刺 家 和 夫
教 育	長	小 野 淳 美
会 計 管 理 者	長	根 一 彦
総 務 課 長	高 山 幸 人	
企 画 財 政 課 長	西 館 峰 夫	
防 災 管 財 課 長	木 明 裕 二	
産 業 振 興 課 長	上 野 義 孝	
町 民 課 長	富 吉 卓 弥	
介 護 ・ 福 祉 課 長	飯 田 貴 子	

健康づくり課長	木 明 修
建設水道課長	五十嵐 洋 介
建設水道課調整監	古 林 輝 樹
学校教育課長 兼学校給食共同調理場所長	飯 田 満
学校教育課指導室長	濱 田 健 太 郎
社会教育・スポーツ課長	玉 山 順 一
中央公民館長兼図書館長 兼歴史民俗資料館長	二 木 智 徳
代表監査委員	駒 井 広

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長	田 中 利 実
議会事務局主幹	濱 中 太 一
総務課主幹	四 戸 俊 彰
総務課主幹	木 村 卓 磨

議事日程（第3号）

日程第1 議案第10号 令和8年度野辺地町一般会計予算

町長の提出議案 な し

議会の提出議案 な し

会議に付した議案

議案第10号 令和8年度野辺地町一般会計予算

◎開議の宣告

○議長（岡山義廣君） 本日の会議を開きます。

（午前 9時30分）

◎発言の訂正

○議長（岡山義廣君） ただいま防災管財課長から、2月26日の会議における木戸議員の質問に対する答弁について、訂正したいとの申出がありましたので、これを許可します。

防災管財課長。

○防災管財課長（木明裕二君） おはようございます。木戸議員の一般質問、空き家対策についての再質問の中で、町内の空き家における所有者不明の件数は何件かとのご質問に対し、61件というふうにお答えいたしました。正しくは60件でありました。訂正させていただきます。よろしくお願いいたします。

◎答弁の保留分について

○議長（岡山義廣君） 同日における木戸議員の一般質問において、保留していた答弁の準備ができたそうなので、発言させます。

会計管理者。

○会計管理者（長根一彦君） おはようございます。木戸議員からの一般質問におきまして回答を保留していた、町が把握している空き家のうち、所有者不明の60件の空き家で、固定資産税を滞納している件数に関わる質問にお答えいたします。

初めに、防災管財課における所有者不明の空き家は、所有者が亡くなり、空き家となっている場合、所有者不明として区分していると聞いております。今年度、所有者不明の空き家60件のうち、固定資産税賦課、課税している件数は44件、額にして111万500円となっております。うち2月26日現在、滞納となっている件数は13件、額にして33万5,200円となっております。

なお、滞納となっている13件につきましては、滞納を促す催告書を先般送付しておりましたが、1件分が町に返送されております。返送された場合は、今後相続権があるものを特定していくための戸籍調査などを行い、滞納に関わる事務を進めてまいるということしております。

以上です。

◎資料の正誤について

○議長（岡山義廣君） 報告ですが、町長から別冊予算書の正誤の申出がありました。正誤表を配

付しております。

あわせて、附属資料の追加がありましたので、こちらも皆さんに配付しております。ご確認ください。

◎議案第10号 令和8年度野辺地町一般会計予算

○議長（岡山義廣君） それでは、議事に入ります。

日程第1、議案第10号 令和8年度野辺地町一般会計予算を議題とします。

予算の概要、それから予算書25ページの1款町税から34ページの12款使用料及び手数料まで、企画財政課長から説明をさせます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） おはようございます。議案第10号 令和8年度野辺地町一般会計予算について説明いたします。

別冊の予算書の3ページをお願いいたします。第1条ですが、歳入歳出予算の総額は83億6,200万円となりました。前年度当初予算と比較して金額で7億3,300万円、率にして9.6%の増となります。

第2条から第4条までは、後ほどそれぞれの表が出てくるページで説明いたします。

下のほうの第5条ですが、一時借入金の借入れの最高額を20億円と定めます。

次に、歳入の主なものを説明いたします。予算書の25ページをお願いします。25ページの1款町税は、総額で14億737万4,000円、前年度と比較して1,462万2,000円の減となりました。1項町民税、1目1節個人町民税の現年課税分は、ほぼ前年並みの4億9,360万円を見込みました。

2目1節法人町民税の現年課税分は、ほぼ前年並みの8,106万4,000円を見込みました。

2項1目固定資産税は、1節現年課税分を6億3,600万1,000円と見込みました。前年度と比較して2,050万円の減で、主に償却資産の減が要因であります。

26ページをお願いいたします。3項軽自動車税、1目環境性能割は、税制改正が見込まれますが、本当初予算の段階では234万3,000円で計上しております。

2目種別割、1節現年課税分は、ほぼ前年並みの3,900万1,000円を見込みました。

4項町たばこ税は、前年度と比較して380万円増の1億3,000万円を見込みました。

5項入湯税は、施設利用者の実績を参照し、前年度と比較して40万円増の600万円を見込みました。

下段の2款地方譲与税から28ページの8款地方特例交付金までは、いずれも国の地方財政計画に基づいて計上しております。

2款地方譲与税は、総額で6,120万円となりました。前年度と比較して210万円の減となりました。これは、27ページの2段目の森林環境譲与税の減少分であります。

28ページをお願いいたします。7款地方消費税交付金は3,900万円の増となりました。

8款地方特例交付金は、前年度と比較して800万円の増となりました。令和7年度までありました地方揮発譲与税、自動車税環境性能割交付金、軽自動車税環境性能割交付金の減収補填などによるものです。

9款地方交付税は、国の地方財政計画及び令和8年度の町税見込みを参照して、25億9,000万円を計上いたしました。内訳は、普通交付税が前年度と比較して2,000万円減の23億円、特別交付税が前年度と比較して1,000万円増の2億9,000万円であります。普通交付税では、令和8年度の算定から令和7年度国勢調査人口が使用されることとなり、これまでの算定で使用されていた令和2年度国勢調査人口に比べ、当町の人口が1,000人以上減少することが見込まれるため、前年度当初予算と比較して2,000万円の減としております。

29ページに参りまして、11款分担金及び負担金、1項2目農林水産業費分担金は、野辺地漁港荷さばき施設改築工事の分担金で、279万4,000円が皆増となりました。

12款使用料及び手数料、1項使用料は、総額で3,107万9,000円となり、前年度と比較して138万6,000円の増となりました。

30ページをお願いいたします。中ほどの4目農林水産業使用料、柴崎地区健康レクリエーション施設使用料は40万円の増を見込みました。

31ページに参りまして、中ほどの6目土木使用料、2節道路使用料は70万6,000円の増を見込みました。

33ページをお願いいたします。2項手数料は、前年度と比較して総額で78万2,000円の増となりました。

1目1節戸籍手数料は、戸籍関係が57万6,000円の減、印鑑登録証明が5万1,000円の減となりました。

2目1節民生手数料は、外出支援サービスが20万5,000円の減、要援護者除雪対策事業が50万円の増となりました。

3目1節塵芥処理手数料は、廃棄物処理手数料が220万円の増、埋立処分手数料が76万3,000円の減となりました。

以上が1款町税から12款使用料及び手数料までの説明となります。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 1款町税から12款使用料及び手数料までの質疑を行います。ページ数を言ってから質疑願います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで1款町税から12款使用料及び手数料までの質疑を終わります。

次に、予算書34ページの13款国庫支出金から42ページの14款県支出金まで、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 34ページをお願いいたします。13款国庫支出金は、総額で8億6,916万7,000円となり、前年度と比較して1億3,309万9,000円の増となりました。

1項1目1節社会福祉総務費負担金の国民健康保険保険基盤安定は137万9,000円の減、2節介護保険費負担金は47万8,000円の減、3節障害者福祉費負担金の更生医療費は569万円の増、4節児童福祉費負担金の教育・保育給付費は2,144万7,000円の増、乳児等のための支援給付費は89万1,000円の皆増、5節児童手当負担金の児童手当費は991万5,000円の減となりました。

35ページに参りまして、2項1目1節総務管理費補助金は、前年度と比較し6,763万1,000円の減となりました。デジタル基盤改革支援事業費は、6,020万5,000円の減の151万8,000円となり、前年度計上してありました社会保障・税番号制度システム整備費は412万9,000円の皆減、これが主な原因であります。前年度計上してありました戸籍住民基本台帳費補助金という節は、戸籍情報システム改修費68万2,000円及び振り仮名の法改正に伴う通知書作成事業費361万円の皆減で廃止となり、3節安心安全まちづくり対策費補助金の空き家対策総合支援事業費は302万4,000円の減となりました。

2目2節児童福祉費補助金の地域子育て支援事業費は1,014万円の増、妊婦のための支援給付費は89万円の増、前年度計上してありました出産・子育て応援給付金は16万7,000円の皆減となりました。

3目1節保健衛生費補助金、母子保健衛生費は17万5,000円の増、妊産婦健康診査等アクセス事業は89万円の皆増、36ページをお願いいたします、1行目の歯科疾患予防等事業は52万9,000円の皆増となりました。2節下水対策費交付金は129万6,000円の減となりました。

4目土木費国庫補助金、1節社会資本整備総合交付金は、除雪業務委託費が207万4,000円の減、住宅・建築物耐震改修等事業費が51万8,000円の増、下町・一ノ渡線舗装補修事業費が26万8,000円の増など、合わせて115万3,000円の増となりました。2節道路橋りょう費補助金は、中渡橋橋梁補修事業費が861万1,000円の増、川目橋橋梁補修事業が882万7,000円の皆増、合わせて1,743万8,000円の増となりました。

5目1節小学校費補助金は、主に学校施設環境改善交付金1億5,481万9,000円の皆増により、1億5,431万9,000円の増となりました。3節教育費補助金は、前年度計上してありました新しい地方経済・生活環境創生交付金が106万1,000円の皆減となった一方、公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金91万6,000円の皆増、都道府県等口腔保健推進事業費70万2,000円の皆増などにより、55万7,000円の増となりました。

37ページに参りまして、3項2目1節国民年金事務費委託金は、主に事務費交付金（物件費）の増により169万7,000円の増となりました。

14款県支出金は、総額で9億8,823万5,000円となり、前年度と比較して1,284万円の増となりました。

1項1目1節社会福祉総務費負担金は、主に国民健康保険保険基盤安定の減により650万8,000円の減となりました。2節後期高齢者医療対策費負担金は、後期高齢者医療保険基盤安定の増により833万5,000円の増となりました。4節障害者福祉費負担金は、更生医療費の増により284万5,000円の増となりました。38ページをお願いいたします。5節児童福祉費負担金は、教育・保育給付費が677万4,000円の増、施設型給付費地方単独費用県負担金が131万2,000円の増、乳児等のための支援給付費が14万8,000円の皆増となり、合わせて823万4,000円の増となりました。

2項1目2節電源立地地域対策交付金は、前年度計上した健康づくり推進事業3,000万円が皆減となり、新たに浜掛地区踏切下埋設管きょ埋立事業に1,000万円、広報広聴充実DX推進事業に1,500万円、消防団装備整備事業に500万円を計上し、金額は前年度と同額となりました。3節核燃料物質等取扱税交付金は、前年度と比較して1,068万9,000円増の2億3,002万5,000円を見込んでおり、増加分は環境衛生施設運営事業への充当分を増やしております。39ページに参りまして、4節企画費補助金は176万9,000円減となりました。前年度県補助金として計上した子どもを産み育てやすい環境づくり強化事業費が令和8年度は国庫補助金となり、35ページのほうの結婚新生活支援事業費補助金のほうに計上したことにより、こちらの科目は減となりました。

2目1節社会福祉総務費補助金は、地域防災・減災力向上事業補助金の増などにより65万2,000円の増となりました。3節障害者福祉費補助金は、重度心身障害者医療費助成事業費の85万円の減などにより、94万5,000円の減となりました。4節児童福祉費補助金は、地域子育て支援事業費が346万2,000円の増の一方、医療的ケア児保育支援事業費が396万7,000円の皆減などで102万9,000円の減となりました。

40ページをお願いいたします。6目1節教育費補助金は、前年度計上した公立学校情報機器整備事業費が2,438万3,000円の減の一方、学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金が228万7,000円の増、青の煌めきあおもり国スポ会場地市町村運営費交付金が2,879万8,000円の増により、758万2,000円の増となりました。41ページに参りまして、2節中学校費補助金は、校内教育支援センター支援員配置事業費が152万4,000円の皆増となりました。

3項1目4節統計調査費委託金は、経済センサス活動調査費の88万9,000円の増などの一方、前年度計上した国勢調査費685万3,000円の皆減により、600万2,000円の減となりました。5節選挙費委託金は、県議会議員一般選挙費が203万3,000円の皆増となった一方、前年度計上した参議院議員通常選挙費が1,341万3,000円の皆減となり、1,138万1,000円の減となりました。

2目1節社会福祉総務費委託金は、人権啓発活動地方委託事務費の39万円の皆増などにより、35万5,000円の増となりました。

以上が13款、14款の歳入予算の主なものの説明となります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 13款国庫支出金から14款県支出金までの質疑を行います。質疑はありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） おはようございます。36ページ、13款2項5目1節の小学校費補助金の学校施設環境改善交付金についてです。これは、統合小学校建設に係る国庫補助金であると思いますが、先週の特別委員会でもありましたとおり、採択されるかされないかということで報告を受けましたけれども、現在採択される見込みはどれぐらいあるのか、お尋ねいたします。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

国の令和8年度予算案では、町が申請している交付金事業の割合は少ないものではありませんが、一定程度の可能性はございます。町では、令和8年4月中旬の内示を待つところでございますが、文科省の指針では当該年度に財源確保がされていることが補助金交付の前提となりますので、現時点では採択されたことを考えまして、必要な予算であると考え、計上しております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 38ページ、14款2項1目2節の広報広聴充実DX推進事業1,500万円とありますが、どういう使い方をされるのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 総務課長。

○総務課長（高山幸人君） 少々お待ちください。お待たせいたしました。1,500万円の使い道ですけれども、まず1つ目にDX推進アドバイザー任用事業です。2つ目に、ホームページのリニューアル、情報発信の強化ということで、この事業は2つ目になります。3つ目としましては、デジタルデバイド対策、情報格差対策ということでスマホ相談会、以上の3つの事業を予定してございます。

以上です。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで13款国庫支出金から14款県支出金までの質疑を終わります。

次に、予算書42ページの15款財産収入から51ページの20款町債まで、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） 42ページをお願いいたします。財産収入は、総額で2,943万7,000円となり、前年度と比較して1,121万1,000円の増となりました。

1項2目1節利子及び配当金は、金利上昇により財政調整基金積立金利子に490万7,000円増の605万4,000円を見込むなど、合わせて1,075万2,000円の増となりました。

44ページをお願いいたします。17款繰入金は、総額で7億516万1,000円となり、前年度と比較して1億6,232万6,000円の増となりました。

2項1目財政調整基金繰入金は1億8,000万円増の5億円となりました。先ほど普通交付税のところで、令和8年度の算定から令和7年度国勢調査人口が使用されることになり、これまでよりも1,000人以上減少することが見込まれるため、前年度と比較して普通交付税の額を2,000万円減としたと説明いたしました。当初予算に計上する普通交付税の額を固く見積もっている分を補う形としているため、財政調整基金繰入金は1億8,000万円増の5億円となっております。7月の普通交付税算定の結果などにより、このままの額を繰入れしなくてもよいように財源調整する予定としております。

3目学校建設基金繰入金は349万3,000円減の462万2,000円となりました。

5目役場庁舎建設基金繰入金は、全ての起債借入額及び借入条件等が確定したことにより、2,375万4,000円増の8,046万9,000円となりました。

45ページに参りまして、8目森林環境譲与税基金繰入金は、主に林地台帳精緻化業務や民有林野造林補助金などに充てる予定としておりますが、333万3,000円減の605万8,000円となりました。

11目子育て支援基金繰入金は、すこやか医療費や子ども医療費に充てる予定としており、3,500万円減の2,500万円となりました。

下段からの19款諸収入は、総額で7,229万5,000円となり、前年度と比較して458万1,000円の増となりました。

47ページをお願いいたします。5項雑入、2目医療給付費等返納金、1節重度心身障害者医療費返納金は、高額療養費返納金が226万2,000円の減となりました。

48ページをお願いいたします。3目2節雑入の中ほどにあるコミュニティ助成事業助成金は180万円増の1,280万円、49ページに参りまして、同じく2節雑入の一番下の自治会活動活性化セミナー受講料が10万7,000円の皆増など、合わせて132万8,000円の増となりました。

20款町債は、総額で11億5,590万円となり、前年度と比較して3億8,700万円の増となりました。

1項1目総務債は、財務会計システム改修業務が140万円の皆増、交通安全施設整備事業が460万円の増、防災無線子局増設工事が620万円の皆増、合わせて1,220万円の増となりました。

2目1節衛生債は、ごみ処理施設改修事業負担金が490万円の減、最終処分場施設機械設備改修事

業が500万円の増、野辺地病院医療機器等更新事業負担金が230万円の減、50ページをお願いいたします、斎場改修事業負担金が300万円の減、公金収納対応事業が330万円の皆増となり、合わせて190万円の減となりました。

3目農林水産業債は、柴崎地区健康レクリエーション施設改修事業の皆増により4,090万円の増となりました。

4目商工債は、むらおこし物産加工施設整備事業が160万円、観光物産PRセンター改修事業900万円それぞれ皆増となり、合わせて1,060万円の増となりました。

5目1節道路橋りょう債は、草刈装置更新事業が1,320万円の皆増、橋りょう長寿命化補修事業が2,310万円の増、駅前広場区画線設置工事が700万円の皆増となり、合わせて4,400万円の増となりました。2節河川債は、河川改修事業が350万円の皆増となった一方、前年度計上した御手洗瀬川改修事業が4,790万円及び河川しゅんせつ事業は1,040万円のそれぞれ皆減となり、合わせて5,480万円の減となりました。3節都市計画債は、公園遊具更新事業の増により330万円の増となりました。

6目消防債は、消火栓整備事業が640万円の増となった一方、前年度計上した野辺地消防署の消防用車両整備事業負担金の1億8,880万円及び消防団車両整備事業の3,280万円の皆減や消防団屯所整備事業の1,120万円の減などがあり、合わせて2億2,640万円の減となりました。

7目教育債は、スクールサポーター設置事業が480万円の減、中央公民館改修事業が2,460万円の増、有戸地区学習等供用センター改修事業1,260万円の増、給食センター改修事業が660万円の増、51ページに参りまして、町立体育館改修事業が4,200万円の増、統合小学校新築事業が4億8,230万円の増、中学校整備事業が350万円の皆増、歴史民俗資料館改修事業が330万円の皆増となり、合わせて5億6,890万円の増となりました。

中ほどに廃止となった款を掲載しております。前年度まで計上しておりました環境性能割交付金は、税制改正により自動車の環境性能割が廃止になったことにより600万円皆減となりました。

以上が15款からの歳入予算の主なものの説明となります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 15款財産収入から20款町債までの質疑を行います。質疑ありませんか。

3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 50ページの5目土木費の1節、駅前広場区画線設置工事とあるのですけれども、もうちょっと、どういう内容か説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） おはようございます。ご質問にお答えいたします。

現在の駅前広場の区画線を、今年度国スポもあるということで、駅前をきれいに整備したいということで、主に線を、現状の色を引き直すというような形で考えております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 44ページです。繰入金、1目財政調整基金繰入金、それから3目学校建設基金繰入金、5目役場庁舎建設基金繰入金、それから11目子育て支援基金繰入金のそれぞれの繰入れ後の残高を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） お答えいたします。

まず、財政調整基金ですけれども、7年度末が10億円の見込みとなりますので、今5億円繰り入れますと残りが5億円という形になります。

学校建設基金に関しては、年度末で1億4,800万円の予定です。これから繰入れですけれども、400万円余り繰り入れますので、1億4,400万円になるかと思えます。

庁舎建設基金は、年度末で2億5,400万円の残額かと思えます。これから8,000万円余り繰り入れますので、1億7,400万円余りになるかと思えます。

子育て支援基金は、1億9,000万円余り、残高がございます。これから2,500万円繰り入れますので、1億6,500万円となります。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 49ページです。2目1節のごみ処理施設改修事業負担金8,120万円とありますが、これはクリーン・ペア・はまなすの改修工事費に対する負担金ということでよろしいでしょうか。また、その改修費用の総額が分かれば教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） お答えいたします。

今のごみ処理施設の改修事業負担金についてですけれども、クリーン・ペアさんのほうでプラントの修繕を1億9,200万円余り予定しております。町の負担率が42%ほどですので、8,100万円を負担する予定となっております。このプラントの毎年の維持補修に関わる分で、特別なことはしないとは聞いております。これに100%過疎債を充てる予定で、8,120万円、こちらを計上しております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 50ページです。7目教育債、1節教育債ですが、スクールサポーター設置事業3,000万円とあります。これ毎年計上している地方債だと思うのですが、地方債、借りて返してというのを繰り返していると思うのですが、このスクールサポーター設置事業に関しての地方債の残高は幾らでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） すみません。今そこだけを分けした資料が、その区分が載って

いる項目がないので、すぐにお答えできません。後ほどお答えいたします。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） よろしく申し上げます。

残高と、それからこのスクールサポーター設置事業に関しての償還額も併せて後からお知らせいただければと思います。お願いします。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで歳入予算の質疑を終わります。

これから歳出予算を款ごとに行います。

初めに、1款議会費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） それでは、歳出予算の主なものについて款ごとに説明いたします。

予算書の55ページをお願いいたします。1款議会費は8,431万4,000円となり、前年度と比較して436万2,000円の増となりました。

8節旅費の議員特別旅費は、議員の県外出張に関わる旅費で、新たに鹿児島県や茨城県への行政視察が追加されたことなどにより、前年度と比較して90万8,000円増の113万7,000円を計上しております。

56ページをお願いいたします。12節委託料の議会研修実施業務は、前年度は2件の研修を行いました。令和8年度は3件の研修を予定しており、前年度と比較して23万6,000円増の66万円を計上いたしました。

会議システム導入業務は、議会のタブレット導入に伴い、新たに会議システムを導入するための初期設定費用で、35万2,000円を計上いたしました。

13節使用料及び賃借料の会議システム使用料は、会議システムの導入により毎年度発生するライセンス使用料で、39万6,000円を計上いたしました。

17節備品購入費のタブレットは、議員へ貸与する議会用タブレット端末14台の導入費として321万9,000円を計上いたしました。

以上、1款議会費について説明いたしました。ご審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（岡山義廣君） 1款議会費について質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで1款議会費の質疑を終わります。

次に、2款総務費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 56ページ下段からの2款総務費について説明いたします。

総務費全体の予算総額は10億977万4,000円となり、主にシステム標準化移行業務などの完了により、前年度と比較して923万円の減となりました。

58ページをお願いいたします。12節委託料のふるさと納税関連事務委託業務は65万円を計上いたしました。委託先のポータルサイトを前年度当初の4社から6社へ増やすこととしております。

公会計システム更新業務は、国の制度変更に対応するためシステムのバージョンアップを行うもので、43万2,000円を計上いたしました。

59ページに参りまして、固定資産台帳精緻化及び財務書類作成支援等業務は、前年度から2か年継続の業務で、公共施設等総合管理計画や個別施設計画の基礎資料となる固定資産台帳の精度を高めるための精緻化を行うとともに、毎年度作成する必要がある財務書類の作成支援を一括して業務委託しており、216万7,000円を計上いたしました。

町例規集左横書き移行業務は、令和8年度に町条例等の表記形式を左横書きへ変更することを予定しており、それに伴って例規システムの改修を行うもので、102万3,000円を計上いたしました。

18節負担金、補助及び交付金の北部上北広域事務組合9,224万円は、事務組合の議会費及び総務費に関わる当町分の負担金になります。

61ページをお願いいたします。3目会計管理費、12節委託料の財務会計システム改修業務は、令和8年度中をめどとしてe L T A Xを活用した公金収納に対応するため財務会計システムの改修を行うもので、145万2,000円を計上いたしました。なお、財源には地方交付税措置があるデジタル活用推進事業債を使用する予定としております。

4目財産管理費は、主に役場庁舎及び町有財産の管理に関わる経費であり、前年度と比較して92万5,000円増の7,276万2,000円を計上しております。

62ページをお願いいたします。14節工事請負費の照明L E D化工事は、令和9年の蛍光灯製造及び輸出入の廃止への対応のため、烏帽子コミュニティセンターとコミュニティ消防センターなるさわの照明のL E D化工事を行うもので、129万9,000円を計上いたしました。

自動通話録音装置設置工事は、カスタマーハラスメント対策及び町民対応の円滑化を図るものであり、320万円を計上いたしました。

63ページに参りまして、中段の6目企画費には、町の施策全般の企画及び調整に関わる経費などを計上しております。前年度と比較して353万5,000円増の7,813万1,000円となりました。

10節需用費の印刷製本費170万1,000円には、まちづくり総合計画印刷費160万1,000円を含んでおります。

64ページをお願いいたします。12節委託料の地域おこし協力隊コーディネート業務550万円は、情報発信分野の協力隊員の任用に関わる委託料で、報酬や活動費が主な内容です。

地域おこし協力隊募集業務350万円は、令和9年度に任用する協力隊員の募集に関わる委託料です。

おためし地域おこし協力隊業務100万円は、令和9年度に任用する協力隊の業務内容に関心を持って問い合わせた方などに、野辺地町に来て様々な体験をしてもらい、着任後のミスマッチをなくすことを目的とした業務を委託するものです。

地域おこし協力隊伴走支援等業務217万8,000円は、任用する協力隊員、令和8年度ですと情報発信の1人、地域振興の1人、鳥獣対策の2人の計4人になりますが、協力隊員の相談などに寄り添い、活動を支える委託料です。

移住定住等支援業務203万2,000円は、地域おこし協力隊員のOGの方に町の移住、定住等の仕事に関わってもらうための委託料です。

モビリティ・マネジメント教育業務は、町内2つの小学校の2年生を対象に公共交通の大切さを知ってもらうことを目的に実施するもので、120万円計上いたしました。

移住定住ポータルサイト企業版ふるさと納税ページ作成業務8万8,000円は、1年前の議会の決議にもありました企業版ふるさと納税について、効果的に企業から寄附を募るため、移住定住ポータルサイト内に専用ページを開設するものです。掲出する内容は、制度の紹介、このたび作成しました第3期総合戦略をベースとする地域再生計画に基づく募集事業の概要や企業へのPRのほか、使用する様式を含む寄附の流れなどを予定しております。

町内アウトドア婚活企画37万円は、まちづくり委員会有識者から、結婚したいと思える環境の整備が必要だとの意見が複数あったことを踏まえ、新たに町独自でたき火を囲む集い型の婚活イベントを実施するものです。

65ページに参りまして、18節負担金、補助及び交付金のイベント出展に係る負担金13万円は、予定となりますが、おいでや！！いなか暮らし移住フェア2026大阪への出展料を計上したものです。

野辺地町地域公共交通会議1,200万円は、町地域公共交通計画をこの会議が主体となり策定するために計上しました。

コミュニティ助成事業280万円は、馬門自治会の除雪機などの120万円、下袋町自治会の集会用備品160万円がその内訳となり、自治総合センターに申請し、それが認められた場合に速やかに補助金交付が進められるように計上したものです。

バス路線維持対策費補助金2,607万4,000円ですが、十和田観光電鉄のほうで1,483万7,000円、下北交通のほうで1,123万7,000円を予定して計上しております。

移住支援事業費200万円は、東京圏からのU・Iターン推進及び担い手不足を解消するもので、移住世帯の場合は100万円、単身移住の場合60万円を支給、さらに18歳未満の子を帯同する場合には1人につき100万円の子育て加算をするものです。

空き家取得費130万円は、空き家等バンクに登録された町内の空き家を取得する費用の一部を助成するものです。

のへじ体験支援交通費助成12万8,000円は、町に関わる活動、具体的には各種研究やイベント参加などのために来町する個人に対し、交通費の一部を助成するものです。

若者定住促進家賃支援事業費24万円は、県外からの移住者で、町内に住み、町内外で働く40歳未満の個人移住者が申請した場合、月額2万円を上限に家賃の一部を補助するものです。

医療・福祉職子育て世帯移住支援事業費300万円は、県外からの移住促進、医療・福祉分野の担い手不足の解消を目的として、基本分100万円のほか、子育て加算として18歳未満の子1人につき100万円、独り親の場合の加算として100万円を支給する制度です。

結婚新生活支援事業費補助金300万円は、世帯所得500万円未満の世帯の結婚に伴う新生活を経済的に支援するため、29歳以下の夫婦の場合は1組60万円、30歳から39歳までの夫婦の場合は1組30万円を申請により審査し、交付する制度です。

地方就職学生支援事業費12万5,000円は、若者の地方移住に対する支援強化を目的として、東京圏の大学に原則4年以上在学する卒業年度の学生が、青森県内の企業で就職活動を行うために要した交通費の2分の1に移転費を加えて補助する制度です。

引越支援事業費20万円は、県外から転入した方の引越し費用の一部を補助するもので、補助率は2分の1、補助上限額は10万円を基本とし、40歳未満の若者世帯または18歳未満の子を帯同する子育て世帯については補助率を3分の2に引き上げるという補助制度です。

移住者自動車運転技術向上支援事業費10万8,000円は、雪道や運転に不慣れなペーパードライバーなどの自動車運転講習に関わる経費の一部を補助するもので、講習1回当たり4,000円を限度として6回分までを支給対象とする制度です。

66ページをお願いいたします。9目電子計算機管理費は、前年度と比較して733万9,000円減の1億3,665万1,000円となりました。システム標準化移行業務の完了による減が主な要因であります。

13節使用料及び賃借料の電子計算機は、前年度と比較して2,976万6,000円増の8,283万円を計上いたしました。住民情報システムがガバメントクラウド対応のシステムに変更になることによる費用増が主な要因であります。

17節備品購入費のサーバーは、グループウェア等の6つの仮想サーバーを内包している仮想基盤サーバーが令和2年度の導入から5年経過しており、令和8年度中に更新する必要があるため、799万7,000円を計上いたしました。

67ページに参りまして、10目電子自治体推進対策費は、前年度と比較して1,382万9,000円増の4,060万4,000円を計上いたしました。

12節委託料のホームページリニューアル業務は、町公式ホームページのリニューアルに向け、情

報の階層整理やコンテンツマネジメントシステムの改善等を行い、町民が必要な情報にアクセスしやすい環境を整備するために、1,331万9,000円を計上いたしました。

D X推進アドバイザー業務は、前年度に引き続き、町のデジタルトランスフォーメーションを推進していくため、外部のアドバイザーから助言や業務支援を受けるもので、501万円を計上いたしました。

13節使用料及び賃借料のA I—O C R利用料は、紙で提出された確認書や申請書を手作業でシステム入力する必要がある事務について、A I—O C RとR P Aによりスキャン、データ化し、システムへ自動転記することで、入力の手間及び入力誤りの削減を行うことができるツールの利用料で、160万9,000円計上いたしました。

また、生成A Iサービス利用料は、資料作成やアイデア出し等、様々な業務効率化を図ることができるサービスの利用料で、161万1,000円を計上いたしました。

17節備品購入費、タブレットは、議会や庁議等の会議の場において、執行部が使用するタブレット端末23台の導入費として810万9,000円を計上いたしました。

68ページをお願いいたします。下段の2項徴税費は、前年度と比較して1,752万5,000円減の1億281万円を計上いたしました。

69ページに参りまして、1目税務総務費、12節委託料の土地・家屋台帳電子化業務は、令和8年2月から標準準拠システムへの移行に伴い、現在紙媒体で保管している土地台帳及び家屋台帳をスキャンし、電子化するもので、899万8,000円を計上いたしました。

法務局連携データ取込構築作業は、これまで町と法務局との間で紙媒体で発行、收受していた税関係の各種通知が、標準準拠システムの移行後、電子データでの情報連携へ移行することとなるためシステム構築を行うもので、247万3,000円を計上いたしました。

2目賦課徴収費は、前年度と比較して1,861万1,000円減の4,611万2,000円を計上いたしました。土地評価替え業務の完了による減などが主な要因です。

71ページをお願いいたします。3項1目戸籍住民基本台帳費は、戸籍総合システムの更新が完了したことなどから、総額で1,769万5,000円減の5,524万円になりました。

73ページをお願いいたします。4項選挙費は、令和9年4月29日、任期満了により執行される県議会議員一般選挙のために3月までの準備に関わる費用など、総額で504万円を計上いたしました。

74ページをお願いいたします。5項統計調査費は、前年度と比較して601万円減の101万1,000円を計上いたしました。前年度実施した国勢調査に関わる業務が終了し、令和8年度は毎年行われる学校基本調査などのほか、5年に1度実施される経済センサス活動調査に関わる経費を計上いたしました。

76ページをお願いいたします。7項安全安心まちづくり対策費、1目交通安全対策費、14節工事

請負費は、前年度と比較して460万9,000円増の729万1,000円を計上いたしました。常夜燈公園前のガードパイプの設置や複数路線の区画線設置工事等を実施する予定です。

77ページに参りまして、3目防災諸費、12節委託料の高潮ハザードマップ作成業務は、県より令和7年度中に公表予定の高潮浸水想定区域に基づき、高潮ハザードマップを作成、配布し、円滑かつ迅速な避難に必要な情報を町民等へ周知するもので、434万5,000円を計上いたしました。

14節工事請負費の防災無線子局増設工事は、防災無線が聞き取りにくいエリアの八幡町地区へ子局を増設し、聞き取りやすくする狙いで620万円を計上いたしました。

以上、2款総務費について説明いたしました。ご審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（岡山義廣君） 2款総務費について質疑を行います。質疑ありませんか。

4番、村中玲子君。

○4番（村中玲子君） 63ページの6目企画費の8節の旅費のところ、どちらに行かれるのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

これは、永木精機さんのほうを予定しております。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） 同じ科目にうちのほうでも計上しておりますけれども、先ほど説明した大阪へ行く旅費なども含まれております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 65ページをお願いします。6目企画費の中の18節の中、バス路線維持対策費2,600万円余り計上されておりますが、これについて費用対効果の考え方を伺いたいのですけれども。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

費用対効果と今お話がありました。取りあえずバス路線として野辺地町は、ほかの市部、例えば十和田とかむつ市とか青森と野辺地町をつなぐという、そういうふうな交通の結節点になっておりますので、通過するバスがございます。こちらのほう、その市部と通過する市町村、それらの移動を考えて維持するというのは、今やっているバス会社がやってくれる以上、続けていったほうが効率的だと思います。

そして、平成13年以前の合併前の市町村の間を行き来するバスについては、国庫補助が使えるなど有利な条件があります。今のところ、国庫補助が使えると県も協調補助として国庫と同じ額を補助してくれますし、それに市町村が乗って維持するというのは費用的に、費用対効果というのは高

いかと思います。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） その上です。野辺地町地域公共交通会議負担金1,200万円計上されておりますが、先ほど策定費等々というお話がありましたけれども、具体的には策定費にどれぐらい、それからほかの部分にどれぐらいかかるのか、その1,200万円の内訳を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） 負担する先の公共交通会議のほうの予算は1,700万円で予定しております。それで、500万円は国からの補助金をいただいて、町から1,200万円の負担金をいただいての業務策定とかなります。予定としては、交通の調査などについて、1,000万円ぐらいかかるだろうと、計画策定については600万円ぐらいかかるだろうと、これらを合わせて業者委託する予定で、1,600万円ぐらいは業者委託、あとの100万円はこの会議の運営や実際の路線調査とかを自前でする分の旅費、そのほか細々とした経費になります。

○議長（岡山義廣君） 2番、高沢陽子君。

○2番（高沢陽子君） 66ページ、1項総務管理費の中の13節、電子計算機に8,283万円、結構な金額ですが、これの使用目的、そして台数、あとどういう形のものと言うと変ですけども、どういふものなのでしょう。ちょっとイメージがつかないのですけれども、お願いします。

○議長（岡山義廣君） 総務課長。

○総務課長（高山幸人君） 少々お待ちください。

○議長（岡山義廣君） 保留しますか。

○総務課長（高山幸人君） お待たせいたしました。こちらにつきましては、標準準拠システム、住民情報システムが国の仕様を基に、全国の自治体がそれに倣って、そちらのシステムに移行するということになってございます。あわせて、標準準拠システムに移行するに当たって、国、今まで各自治体がそれぞれの業者さん、ベンダーさんのクラウドを使っていたのですけれども、今後は国のほうでクラウドを開発して、そちらの国のガバメントクラウドを利用して、なおかつ国のつくった標準準拠システムを利用するというので、国のほうでは当初金額は増えないだろうということ、自治体の持ち出しは増えないだろうと予想していたのですけれども、実際は金額については、ここは8,000万円ですけども、令和7年度で言えば5,000万円程度ですので、上昇しております。この分につきましては、国のほうでも対応を検討しております、1つは地方交付税で措置するというものと、2つ目とすれば、計画をそれぞれの自治体で立てて、内容につきましては、その経費を抑えるための計画をつくったところに対して国が補助金を交付するというような手を考えているみたいですので、その辺の情報が入ったら直ちに対応していきたいというふうに考えてございます。今現在使っている職員の台数とかには、それほど大きな変動はございません。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 65ページです。先ほどのバス路線維持対策費の説明の中で、ほかの市町村への移動路線というところを説明いただきましたけれども、町内の巡行を見ますと、利用者が非常に少ないというところで、そこにこんなに補助金出していいのかという声を聞いています。利用者増に向けた働きかけの努力はされているでしょうか。どういったことを働きかけているでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） お答えいたします。

働きかけというか、8年度に予算計上したのものとしてはモビリティ・マネジメント120万円、これは子供の頃からバスの使い方というのが分かったりすることによって、そのまま学生とかになったときに、大学のある場所とかで使ったり、戻ってきてからも使えるようになる、そういったことを目指しているもので、そういう誘導がまずあるとともに、令和8年度、公共交通計画を策定する中で、利害関係者とかなり接触します。その中で、病院、スーパーマーケット、薬局、あるいは六ヶ所の関係事業所のバスが結構走っております。これらにそれぞれが乗ってしまう、白ナンバーのバスに乗ってしまうことによって、町内の緑ナンバーのバスに乗らないという傾向もありますので、これらについて利害関係者と話しして、まずダイヤをどう合わせれば取り込むことができるかということの研究して、この利用の増進、増やしていくことを目指したいと思います。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 67ページ、お願いします。12節委託料の中で、ホームページリニューアル業務1,331万9,000円計上されていますが、ホームページのリニューアルに1,300万円という金額はすごく大きく見えるのですけれども、これは妥当な金額と考えるのでしょうか。その妥当性について説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 総務課長。

○総務課長（高山幸人君） お答えいたします。

町のホームページのリニューアルにつきましてですが、現在改修というか見直し、大分してございません。住民の目線に立ちますと、情報が結構入っているのはいいと思うのですけれども、どこにどういう情報があるのか分かりにくくなって、探しにくくなっているのではないかなというようなデメリットなどが発生していると思います。それに向けまして、情報の階層整理、階層を整理したりですとか、あとウェブアクセシビリティ基準への対応、障害者の方ですとか高齢者の方でも今よりも見やすくなるような、そういう内容のものも対応を進めていきたいというふうに考えてございます。

金額の妥当性につきましては、これから契約締結、仕様書を定めていく中で、これを上限に進めていきたいというふうに考えてございます。

○議長（岡山義廣君） 4番、村中玲子君。

○4番（村中玲子君） 68ページの11目の12節の自治会活動活性化セミナーの開催ですけれども、これは対象者をどの辺りまでにしているか、決まっていたら教えてください。

○議長（岡山義廣君） 総務課長。

○総務課長（高山幸人君） お答えいたします。

自治会活動活性化セミナーの内容、対象者ですけれども、広く町民の方に呼びかけていきたいというふうに考えてございます。現在自治会の役員さん、大変なご苦労いただいて、町政を大分助けていただいているところもでございます。自治会とは何かといった根本的なところにも立ち返って、一人でも多くの方に自治会活動について考えていただきたい、そういう機会を提供したいなというふうに考えてございます。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） まず、59ページの2款1項1目17節の備品購入費のスマートフォンとありますが、購入目的を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 総務課長。

○総務課長（高山幸人君） 少々お待ちください。こちらにつきましては、聴覚に障害のある職員がおりまして、電話相手の声を文字にするアプリの導入をスマートフォンにして、本人の、全ての職員が能力を十分に発揮できるような、障害者も含めて、そういうことを念頭にスマートフォンを町で購入するというものになります。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 63ページ、2款1項6目1節報酬で、まち・ひと・しごと創生有識者会議委員のところですか。令和7年度よりも大幅に減額されておりますが、その理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） お答えいたします。

令和7年度に関しては、まちづくり総合計画の後期計画をつくったり、第3期の総合戦略をつくったり、それらの審議などで会議回数が多かったことにより多かったです。それに比べると、8年度に関しては開催回数が減っております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 70ページ、2款2項2目11節に媒体持込手数料というものが新しく出ましたけれども、この詳細を説明してください。

○議長（岡山義廣君） 会計管理者。

○会計管理者（長根一彦君） お答えいたします。媒体持込手数料ですけれども、今口座引き落とし、各種税の引き落とし、各金融機関にDVDを持ち込んでいるのですけれども、そのDVD、今

まで処理するための手数料は無料だったのですけれども、来年度から発生するというものでしたので、その手数料として計上しております。

○議長（岡山義廣君） 9番、野坂 充君。私の指名した人が発言してください。

○9番（野坂 充君） 67ページの備品購入費のタブレット、議会費の中でもタブレットあったのですが、今年町で購入するタブレットは、この議会費と総務費のだけでしょうか。このタブレットについては、同じものを購入する予定かどうか、教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） こちらの予算編成で把握している限りは、議会とここの総務費のところになります。

議会に関しては、アイパッドのもので、外に持って歩けるものになります。町職員のものについては、Wi-Fi対応で、割と庁内でだけ使うようなタイプのものになると聞いております。

○議長（岡山義廣君） 9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） タブレットにしても、議会費にしても、この総務費にしても、単価的にすごく高めと思われるのですが、これは、価格は参考見積りを取ってやったのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 議会費などで、見積りとして添付されているものには参考見積書がついております。その価格で、設計上は参考見積価格で計上しております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 63ページの企画費のところ質疑したいのですけれども、今現在国ではふるさと住民登録制度の創設を検討しているのですが、予算は上がっておりませんが、町としてはこの制度を積極的に活用するお考えが現在あるのかどうか、その辺ちょっと教えていただきたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） ふるさと住民登録制度については、今情報提供が国などからもありまして、それを研究しているところになります。どういうポイントをつけるかとか、いろいろ、どういう活動を認めるか、ポイントをつけるのはどこでやるのか、そのポイントの管理どうするか、利用できるかなど、いろいろ調整する先があるので、町のほうでは野辺地町でも効果が出そうなものを見つけ出したときには、そこに手をつけていこうとは考えております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 74ページ、2款5項1目1節の中に指導員報酬、調査員報酬とあります。令和7年度は表記なかったのですけれども、ここ詳細説明をお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 統計調査費の指導員と調査員のこと、指導員のほうですけども、経済センサスのほうの指導する方を予定しております。調査員に関しては、200から300くらいの対象がありますけれども、そちらのほうに10人未満程度の調査員のほうを割り当てる予定としておりますので、そちらの調査員報酬になります。

○議長（岡山義廣君） 6番、戸澤 栄君。

○6番（戸澤 栄君） 65ページの中段、空き家を取得するときの予算ですけども……

○議長（岡山義廣君） ちょっと聞こえません。

○6番（戸澤 栄君） 空き家を取得するときの助成金、65ページの中段ですけども、これに条件とか限度額というのがありましたら教えてください。そして、どういう広報をするのか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 空き家の取得費ですけども、まず空き家バンク登録というのをさせていただくことになります。大体の方、不動産取引をされる業者さんと一緒に来て、町のほうに登録されることになっております。それで、居住誘導区域というか、浸水しないとか立地適正化で決めている区域の場合は高い額で、成立したときには補助金が出ることとなります。それで、50万円なりの奨励金が申請によって認められれば出ることとなります。

PRについては、空き家バンク制度のホームページ、あるいは不動産業者などのほうを介して、そういう取引をしたい方には周知するように努めております。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで2款総務費を終わります。

健康維持のため、11時まで休憩します。

休憩（午前10時48分）

再開（午前10時58分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

◎答弁の保留分について

○議長（岡山義廣君） 赤垣議員の質疑において、保留していた答弁の準備ができましたので、発言させます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 保留した答弁、赤垣議員のスクールサポーターに関わる地方債残高、償還額についてお答えいたします。

地方債残高が1億1,562万40円、令和8年度の償還額が、元金と利子合わせての計ですが、1,307万7,492円となります。

以上となります。

○議長（岡山義廣君） 次に、3款民生費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 78ページ中段からの3款民生費について説明いたします。

民生費の総額は21億4,664万4,000円で、前年度と比較して4,346万4,000円の増となりました。

79ページに参りまして、下から2つ目の12節委託料の一番下の災害時個別避難計画作成業務は、高齢者や障害者など自力での避難が困難な人、避難行動要支援者といいますが、一人一人に対して、誰が支援するか、どこへどうやって避難するかを事前に具体的に定める計画作成業務です。現在、災害時避難行動要支援者名簿の対象者のうち、計画未策定の約700名を対象に戸別訪問し、計画作成を支援するための新規事業で116万2,000円を計上いたしました。

80ページをお願いいたします。下段の2目後期高齢者医療対策費は、医療療養給付費負担金の増や子育て支援金が令和8年度より新たに徴収が開始されることに伴い、保険基盤安定繰出金が増となったことなどにより、前年度と比較して2,006万9,000円増の2億7,858万8,000円を計上いたしました。

3目介護保険対策費は、介護給付費繰出金の減などにより、前年度と比較して1,792万8,000円減の2億8,247万4,000円となりました。

81ページに参りまして、4目老人福祉費は、地域福祉計画策定業務の完了などにより、前年度と比較して246万7,000円減の854万8,000円となりました。

5目老人福祉センター費は、施設休館により消防法等による施設機能を最低限維持するための費用だけを計上しており、63万3,000円を計上いたしました。

82ページをお願いいたします。下段の7目障害福祉対策費は、前年度と比較して887万2,000円増の5億7,771万3,000円となりました。

83ページに参りまして、19節扶助費の更生医療給付費は、更生医療を受ける生活保護者の増などにより、前年度と比較して1,138万円増の4,438万円となりました。

一番下の難聴者補聴器購入費は、前年度に引き続き、19歳以上の軽度、中等度の難聴者を対象に、1人5万円を上限に補聴器の購入費用を助成する事業で、前年度想定以上の申請があったため、25万円増の50万円を計上いたしました。

85ページをお願いいたします。下段の2項児童福祉費は、総額7億843万3,000円で、前年度と比較して3,382万4,000円の増であります。

1 目児童福祉総務費は、前年度と比較して939万3,000円増の4,423万5,000円となりました。主に職員人件費の増によるものです。

86ページをお願いいたします。18節負担金、補助及び交付金の小学校入学祝金305万円と中学校入学祝金415万円は、小中学校の入学時にそれぞれ5万円のお祝金を支給する町独自の事業です。

妊婦支援給付金の妊娠時250万円と出産時500万円は、国の妊婦のための支援給付交付金を活用して実施するものですが、国の妊娠時に5万円、出産時には5万円というルールに、町独自に出産時は5万円を上乗せして10万円支給いたします。

2 目児童保育費は、前年度と比較して3,252万9,000円増の5億4,349万2,000円となりました。主に教育・保育給付費の増によるものです。

87ページに参りまして、18節負担金、補助及び交付金の保育所等におけるICT化推進等事業費補助金は、令和8年度から国が導入することも誰でも通園制度に対応する保育所等に対し、保育の周辺業務等に関わるICT機器やシステム導入費の一部を補助することにより、保育士等の業務負担の軽減を図るものです。

19節扶助費の教育・保育給付費は、幼稚園や保育所、広域の認定こども園の運営に要する経費ですが、国の定める公定価格の改正により、4,046万3,000円増の3億6,080万5,000円となりました。なお、保育所利用料は、国の事業による3歳児以降の無償化と、令和6年10月からの町独自施策によるゼロ歳から2歳児の無償化により、町内の全ての園児の保育所利用料を無償化しております。

児童手当は、児童数の減少により、690万円減の1億6,236万円を計上いたしました。

88ページをお願いいたします。下段の4目すこやか医療費は、前年度と比較して43万4,000円増の総額1,406万5,000円を計上いたしました。独り親家庭に対し医療費を助成するもので、令和6年10月から所得制限を撤廃しております。

89ページに参りまして、5目乳幼児医療費給付事業費は、小学校就学前の乳幼児の医療費を助成するもので、前年度と比較して72万9,000円減の総額1,296万3,000円を計上いたしました。

6目子ども医療費給付事業費は、前年度と比較して148万2,000円減の総額2,998万5,000円となりました。令和6年10月から所得制限を撤廃するとともに、小学生から中学生までだった対象を小学生から高校生までに拡大しております。

90ページをお願いいたします。8目母子福祉費は、前年度と比較して174万6,000円減の1,334万4,000円を計上いたしました。主にこども家庭センターふわふわに関わるものです。

12節委託料の産前・産後ケア事業は、これまでは専門職の家庭訪問または妊産婦の来庁時に相談支援を行ってきましたが、新たに通所型、宿泊型の産前・産後ケアを助産院に委託し、妊産婦の身体的回復、精神的安定に必要な休息時間と相談支援サービスを提供することにより、ゆとりある子育てができる環境を整備するもので、308万7,000円を計上いたしました。

13節使用料及び賃借料の妊婦等包括相談支援アプリ使用料は、スマートフォンなどで24時間いつでも医師に相談できるアプリの使用料で、132万円を計上いたしました。

91ページに参りまして、9目児童館建設事業費は、統合小学校と併せて新築予定の児童館に関わるもので、令和9年度に着手する予定の児童館新築工事について、令和8年度の小学校新築工事の契約準備の時期に合わせて単価入替え業務を行うため、64万2,000円を計上いたしました。

以上、3款民生費について説明いたしました。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○議長（岡山義廣君） 民生費について質疑を行います。質疑ありませんか。ページ数を言ってから質疑してください。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 79ページ、3款1項1目7節、講師の謝金とあります。どのようなセミナーを予定しているのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えいたします。

この講師謝金につきましては、主に後期高齢者の保健と介護の一体化に伴った事業におきまして、介護予防教室などやレクリエーションの事業に、歯科衛生士さんや専門職の方をお願いして、地区に出向いて実施する事業の謝金になります。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 81ページ、4目12節委託料、高齢者入浴サービス助成費とあるのですけれども、これは昨年より55万円ほど削減されております。高齢者は、昨年より増えていると私は思うのだけれども、この削減した理由をお聞かせください。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えします。

高齢者入浴サービス助成費ですけれども、この事業につきましては、町内の公衆浴場への無料の入浴券を発行する事業になります。対象となる高齢者の人数につきましては、僅かながらも減少している状況になりました。加えまして、利用率のほうは6割から7割ということで、より現状の実績に基づいて試算した金額となります。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 6番、戸澤 栄君。

○6番（戸澤 栄君） 79ページの委託料なのですけれども、災害時の個別避難計画の作成なのですけれども、これをつくることによって地域との連携とか、そういったもののどういう構想を描いて、どういうふうな活躍をしようとしているのか、お知らせください。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えします。

この災害時個別避難計画作成支援業務は、来年度新たに実施する事業になりまして、シルバー人材センターのほうに委託しまして、訪問指導員を任用し、1件ずつ名簿にある700名余りの方々に、可能な限り1件ずつ訪問させていただいて、災害時の避難経路のことであつたり、避難所、避難についての具体的な不安についてお伺いしながら、必要な方には避難行動計画と一緒に作成するという業務内容になります。改めて訪問するわけは、やはりお一人お一人がきちんと避難について自助、自分で逃げるという意識を持っていただきたいということと、それができない場合はどう支援すればいいのかというのを具体的に考えていただくための事業になります。お一人で逃げられない、あと他者の支援を必要とするという場合においては、お一人お一人で状況が違つたりすると思いますので、その場合は自治会や見守りサポーターさん、民生委員さんと連携をして、相談しながら進めていく予定になっております。詳細につきましては、今後、全て決定をして、しかるべき段階できちんちんとご説明して進めたいと思っております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 6番、戸澤 栄君。

○6番（戸澤 栄君） 自治会では、自主防災組織というのがあって、自分たちの地域の高齢者や様々な避難するときにも、そういう手順をつくりながら、もう既に活動しているわけです。そういった部分が、行政的にそういうシステムをつくることはいいのだけれども、絵に描いた餅にならないようにしていただきたいなど。いざとなったとき、本当に民生委員とか、二、三名の民生委員で手助けができるのかどうか、そこの地域全体の中でそういう対象者についてどうあるべきかということ地域と一緒に相談しながら進めていただきたいと思っています。

○議長（岡山義廣君） 答弁は求めていますので、要望で終わりたいと思います。

4番、村中玲子君。

○4番（村中玲子君） 82ページです。6目の7節の集落支援員でありますけれども、この方はどういった活動されているのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えいたします。

有戸地区はまなすふれあいセンターでは、お一人の有戸地区にお住まいの方を集落支援員をお願いをして、活動していただいております。業務内容としましては、有戸地区はまなすふれあいセンターの維持管理に係る部分、入浴サービス、憩いの湯の準備や、後片づけ、館内の清掃をやっていただくとともに、それ以外の介護予防の事業や様々な高齢者の方の集まりの運営などいろいろな業務をやっていただいているという形になります。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 81ページの3款1項4目12節委託料の高齢者入浴サービス助成費です。実績を基に減額されたということですが、対象者を少し拡大するとか、現在一月当たり4枚を配付しておりますが、その枚数を増やすとか、そのような検討はされませんか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えします。

高齢者入浴サービス助成の事業につきましては、基本的に生活困窮者の方に対する入浴のサービス券の助成になっております。利用率については、こちらのほうでも利用を促すような形で声かけはしておりますが、やはり取っておいて、後で使おうという方や、安心のために取っておくというような利用の仕方があるようです。枚数が少ないなどという希望は現在出ておりません。

あと、枚数を増やすことで、利用する入浴施設の稼働の状況も関係しますので、こちらについては今後慎重に検討していきたいと思っております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 82ページ、3款1項6目17節のA E Dの単価です。後ろのほうに出てきます社会教育のほうのA E Dの単価と違いますけれども、予算単価が統一されていないと思われませんが、どういう理由があるのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えします。

このA E Dにつきましては、現存のA E Dの品番やその状況によって、介護・福祉課として参考見積りを取ったものであります。規模や大きさについては、現存のものを参考に見積りを取ってりました。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 4番、村中玲子君。

○4番（村中玲子君） 90ページです。12節の産前・産後ケア事業で、新しい事業として通所型、宿泊型の産後ケア導入をすると思うのですが、もうちょっと詳しく、通所型、宿泊型の事業の内容を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 健康づくり課長。

○健康づくり課長（木明 修君） それでは、お答えいたします。

令和8年度から開始予定の産後ケア事業、宿泊型、デイサービス型、日帰りですけれども、こちらにつきましては、対象者が産後1年未満の産婦さんになりまして、助産院などに委託して、その

施設内で助産師等がマンツーマンで、産後に必要な心身のケアや育児サポートなどを行う事業となっております。核家族化などによりまして、育児を助けてくれる人がいないとか、授乳がうまくできないとか、出産と育児の疲れで体調が優れないなど、育児や体調に不安を抱えている方が利用できます。

それで、宿泊型ですけれども、助産師等がまずどのように過ごしたいか希望を聞きまして、ケアプログラムを作成いたします。産後ケアは、お母さんと赤ちゃんの体調チェックに加えて、希望により乳房ケアや授乳のアドバイス、赤ちゃんの身長体重などの測定、沐浴やおむつ交換の実施、それから育児相談、休息を取るための支援などを行うこととしております。お子さんのお世話は基本的に助産師などが行いますので、お母さんのほうは別室でケアを受けたり、休息をすることができます。また、就寝時は、お子さんとお母さんは別室となりますので、お母さんは夜泣きなどで起こされることなく、ゆっくり睡眠することで体調の回復が期待できます。

デイサービスにつきましては、宿泊型と同様の内容で日帰りとなるスタイルになります。

こちらのほうは、個人負担として委託額の1割程度を負担していただく予定としておりまして、宿泊型ではおおむね5,000円、デイサービスでは2,000円を予定しておりまして、非課税世帯などは無料とする予定としております。

以上となります。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 84ページ、3款1項8目12節委託料です。令和7年度の当初予算では障害者虐待防止対策支援業務が予算計上されておりましたが、令和8年度は計上されておられません。その理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えいたします。

障がい者虐待の一時避難に関する予算でありますけれども、毎年計上していたのですが、利用がないということで、今回は計上しておりません。ですが、支援や相談体制につきましてはもちろん継続してまいりまして、しかるべきほかの体制の活用、ショートステイ、サービスなどを活用しながらできるのではないかとこのところ、今回は計上しませんでした。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 79ページ、12節委託料の中の災害時個別避難計画作成業務に関連してお伺いしますが、これ障がい者に対しても含まれているのかどうか。

それから、先般、障がい者と実際に避難訓練、障がい者も一緒になって避難訓練されたと思いますが、電源が必要な方だったりとか、様々障がいによっては必要な部分というのがあると思うので

すけれども、そういった方々の避難場所の周知というか、対策の周知はどのようにされているのか、お伺いします。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えします。

議員のご質問のまず1点目の災害時避難行動要支援者名簿の中には、高齢者や、あと障がいのある方、そして小さいお子さんをお持ちの方や妊婦さんなどが対象として含まれております。

障がいのある方の避難につきましては、重度の方につきましては計画を策定して、一部重度の方については訓練をしている状況であります。その際に電力が必要な方については、これまでも東日本大震災の後に電力が必要な方の避難に特化した計画を立てて、連携して、毎年更新しているところ です。

そして、障がいのある方についての避難所なのですけれども、町としましては現在福祉避難所の協定を拡大する取組をしております、今年度も各種福祉事業所に呼びかけをして、協定を結んでいただけるところとは協定を組んで、その方に適したところに避難していただけるように検討を進めているところです。お一人お一人やはり状況が違いますので、まず発災時は、イメージとしましては一般的な中央公民館等に避難していただいて、その状況に応じて福祉避難所に受入れを打診して、お連れするというイメージになっております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。要点をまとめて、簡潔にお願いします。

○11番（赤垣義憲君） 80ページ、19節の扶助費の中で、おでかけ支援タクシー利用料金助成費とあります。申請しても、お宅には車を運転できる方がいますよねと、その方に運転してもらってお出かけくださいというアナウンスをされて、助成してもらえないケースがあったと伺っておりますが、仮に家族の中で運転できる方がいても、その方が仕事をされていると、日中帯にお出かけた高齢の方々が移動できないという結果になっているようです。これについてどのようにお考えでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） おでかけ支援タクシーの利用料金助成費についてお答えいたします。

このおでかけ支援タクシーにつきましても、低所得の方を対象に実施している事業でありまして、やはりタクシーしか移動の手段がないという方々に助成、初乗り料金の助成チケットをお渡ししている事業になりますけれども、自宅において送迎ができる方は対象外とさせていただきます。その背景には、タクシー会社の運転手さん不足がありまして、我々もタクシー会社を1軒ずつ回って、その現状を確認しているのですが、運転手さんが不足していて、なかなか対応が難しいという

現状が背景にありますので、真に必要な人、調整をしても誰も車に乗せていただける方が対象という形にさせていただいている現状です。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 87ページの3款2項2目18節の保育所等におけるICT化推進等事業費についてですが、説明では保育士の業務改善ということで説明を受けておりますが、こども家庭庁の資料によりますと、児童館のICT化を行うためのシステム導入についても対象としております。児童館について対象となることから、児童館においてもシステム導入をして、職員の業務を改善するというご検討はされておりますでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 健康づくり課長。

○健康づくり課長（木明 修君） お答えいたします。

児童館におきましても、ICT化などによって業務効率を改善することは大変重要なことだと考えております。そこで、そのタイミングですけれども、新しい児童館を建てて、新体制になった段階で導入を目指して、今後検討していきたいと考えております。

○議長（岡山義廣君） 9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） 83ページの更生医療給付費と、その下の人工透析交通費について、今現在人工透析を受けられている方は何名ほどいるのか。あと、交通費については、支給要件がどうなっているのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えします。

現在人工透析を受けている方につきましては、ちょっと手元に資料がございませんので、後ほどお答えしたいと思います。

あと、交通費の助成につきましては、町内に透析の医療機関ある場合と、あと町外の場合がありまして、町外の医療機関については送迎バスが出ているところもあります。お一人ずつ状況が違いますので、その方に応じた状況で交付しておりますが、基準は透析医療をしている方であれば、どなたでも利用することができます。

以上となります。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで3款民生費の質疑を終わります。

次に、4款衛生費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 91ページ中段からの4款衛生費について説明いたします。

衛生費の予算総額は11億5,467万6,000円となり、前年度と比較して4,822万円の増となりました。北部上北広域事務組合の清掃費及び病院費に関わる負担金の増などが主な要因であります。

1項保健衛生費は、総額1億8,397万6,000円で、前年度と比較して1,778万3,000円の増となりました。

92ページをお願いします。2目予防費には、各種予防接種、健康診査、健康づくり推進事業、さらには自殺予防対策であるところの健康づくり事業の経費などを計上しております。総額は7,708万3,000円で、前年度と比較して2,036万5,000円の増となりました。

12節委託料の高齢者インフルエンザ予防接種に603万3,000円を計上いたしました。令和7年度から助成額を1,000円から2,000円に引き上げております。

93ページに参りまして、同じく委託料の新型コロナウイルス予防接種1,229万8,000円、带状疱疹予防接種653万4,000円は、令和7年度は補正予算で計上してはおりますが、令和8年度は当初予算に計上しております。新型コロナウイルス予防接種は接種時期に変わりありませんが、带状疱疹予防接種については令和7年度よりも早期に接種することが可能となります。また、妊婦RSウイルス予防接種165万円は、令和8年度から定期接種化されるもので、新たに計上しております。

3目母子衛生費は、妊婦及び乳幼児の健康診査や保健指導に関わるもので、1,332万5,000円を計上いたしました。

7節報償費の健康診査謝礼は、5歳児健診において、専門的視点により支援が必要な子供が早期に相談、療育等につながるよう言語聴覚士を問診スタッフに加え、体制を強化するとともに、就学準備の一環として親子の関わり方を見直し、子供の発達特性の理解の契機になるよう、外部講師による講話を導入することにより、前年度と比較して8万2,000円増の16万9,000円を計上いたしました。

94ページをお願いいたします。19節扶助費の交通費等助成金は、妊婦の健診等の交通費を助成するものですが、令和8年度から国、県の補助金を活用し、町外の産後ケアや出産時の通院等の交通費も補助対象としたことなどにより、前年度と比較して52万5,000円増の198万5,000円を計上いたしました。

4目健康増進センター費は、施設の維持管理に関わる経費として、前年度と比較して94万1,000円減の572万2,000円を計上いたしました。主に前年度計上していた誘導路舗装修繕工事の完了によるものです。

5目環境衛生費は、前年度と比較して224万2,000円減の2,438万3,000円を計上いたしました。

95ページに参りまして、上段のほうの18節負担金、補助及び交付金、北部上北広域事務組合負担金は、前年度と比較して229万5,000円減の2,344万7,000円になりました。これは、火葬場に関わる

負担金ですが、主に前年度計上していた炉内台車の購入が完了したためであります。

2 項清掃費は、総額 5 億 1,113 万 2,000 円となり、前年度と比較して 321 万 1,000 円の増となりました。

1 目清掃総務費、18 節負担金、補助及び交付金の北部上北広域事務組合負担金は、クリーン・ペア・はまなすにおいて、前年度計上していた削井工事が完了した一方で、プラントの修繕料の増や昨年の火災事故に伴う粗大ごみ運搬及び処分業務の増などにより歳出が増加したことに加え、空き缶の圧縮成形品の売払い業務が行えなくなったことにより、同組合の歳入の財産収入が減少したことから、前年度と比較して 1,115 万 9,000 円増の 2 億 2,510 万 9,000 円を計上いたしました。

96 ページをお願いいたします。2 目塵芥処理費、12 節委託料の家庭ごみ収集業務は、前年度と比較して 426 万 6,000 円減の 5,439 万 5,000 円、また資源ごみ回収業務は、前年度と比較して 237 万 2,000 円減の 2,244 万円を計上いたしました。これらは、5 年間の長期継続契約としており、令和 7 年度は更新の年に当たり、契約前の予算額を計上しておりましたが、入札執行により契約額が確定したことにより、令和 8 年度は減となりました。

3 目ごみ減量化促進対策事業費、10 節需用費の消耗品費は、町指定ごみ袋の購入が主なものです。物価高騰による単価上昇及び購入数量の増に伴い、前年度と比較して 331 万 5,000 円増の 1,244 万 1,000 円を計上しております。

97 ページに参りまして、4 目一般廃棄物最終処分場管理費は、前年度と比較して 304 万 6,000 円増の 2,748 万 6,000 円となりました。

14 節工事請負費の浸出水処理施設計装機器更新工事は、施設の適正な運転管理のため流量計を更新するもので、550 万円を計上いたしました。

98 ページをお願いいたします。同じく工事請負費の急速ろ過装置電動弁更新工事は、耐用年数を超過した電動弁を更新するもので、350 万円を計上いたしました。

浸出水処理施設 LED 化工事は、200 万円を計上いたしました。5 目下水対策費は、主に浄化槽設置整備事業費補助金を計上しておりますが、前年度と比較して 388 万 8,000 円減の 2,106 万 9,000 円を計上いたしました。浄化槽設置見込み数の減少が主な要因です。

3 項 1 目病院費は、主に公立野辺地病院の負担金ですが、前年度と比較して 2,403 万 7,000 円増の 4 億 4,871 万 3,000 円を計上いたしました。給与改定等による人件費や不採算地区中核病院運営経費、企業債元金償還の増などが主な要因であります。

4 項 1 目上水道費は、前年度と比較して 302 万 6,000 円増の 1,085 万 5,000 円を計上いたしました。

18 節負担金、補助及び交付金の公金収納対応事業は、令和 8 年度中をめぐりとして e L T A X を活用した公金収納に対応するため、上水道事業の関係システム改修費を一般会計から補助するもので、330 万円を計上いたしました。

以上、4款衛生費について説明いたしました。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○議長（岡山義廣君） 4款衛生費について質疑を行います。ページ数を言ってから質疑をお願いします。質疑ありませんか。

4番、村中玲子君。

○4番（村中玲子君） 96ページのごみ減量化促進対策事業費のところなのですが、ごみ袋なのですが、今のごみ袋が薄くて、すごく弱くて、切れやすいと住民から言われているのですが、前のごみ袋と今のごみ袋の製造費なのですが、同じぐらいなのか、差があるのか、どのくらい差があるのか教えていただきたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 課長、答弁大丈夫ですか。

町民課長。

○町民課長（富吉卓弥君） お答えいたします。

家庭ごみの袋、裂けやすいというお話をいただいています。令和6年度に作成したのものには、炭酸カルシウムを2割ほど足した経緯がありまして、それが原因で縦に裂けやすい状況がありましたので、令和7年度購入分につきましては原料を改善しています。強度的には、元の古いほうの強度とほぼ同等ぐらいになったのかなと思っていますが、さらに業者さんでもいろいろ開発していますので、もう少し強度が強くなるようであれば、そちらのほうに切り替えるなど、ただ単価についてはやはり割高になってくるかと思っています。

6年度、7年度の単価については、入札後の単価は今控えておりませんので、後ほど回答したいと思います。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 同じく96ページの4款2項3目のごみ減量化促進対策事業費のところ質疑いたします。

令和7年度は、ペットボトルのリサイクル状況、これまでの年間総量の調査中であると答弁をいただいております。リサイクルされるのはいつ頃からなのか、具体的な計画はありますでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 町民課長。

○町民課長（富吉卓弥君） プラごみも合わせまして、来年度4月から梱包する可能性が出てきましたので、そちらのほうで対応していきたいというふうに思っております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 91ページの4款1項1目12節委託料の健康管理システム改修業務です。令和7年度の2倍の予算になっておりますが、その理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 健康づくり課長。

○健康づくり課長（木明 修君） お答えいたします。

こちらのシステム改修につきましては、令和8年6月、特定個人情報改版に伴う改修作業となります。この作業におきまして、その内容から人件費がかかるということで、こういった金額になっております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 92ページの4款1項2目1節の報酬のところの非常勤事務員です。昨年度当初予算の10分の1以下となっておりますが、妥当であるのか、その理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 健康づくり課長。

○健康づくり課長（木明 修君） お答えいたします。

こちらの減額となった主な要因ですけれども、がん検診、あと特定健診に係る業務を担う会計年度任用職員1名を雇用しているのですけれども、業務が国保の特定健診と一般会計のがん検診にまたがる関係で、一般会計のほうには6か月分、それから残りの6か月分は国保のほうの予算にのせておりましたが、令和8年度は国保のほうに人件費を一本化することといたしました。理由としては、国保のほうに計上しますと補助金の対象になるということで、そちらに一本化しております。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで4款衛生費の質疑を終わります。

◎答弁の保留分について

○議長（岡山義廣君） 野坂議員の質疑で保留していた答弁の準備ができました。発言させます。
介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） 野坂議員のご質問に答弁漏れがありました件でお答えいたします。

更生医療の受給をしている人工透析治療をしている方は、現在9名となっております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 1時半まで休憩に入ります。1時半再開とします。

休憩（午前11時47分）

再開（午後 1時28分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

◎答弁の保留分について

○議長（岡山義廣君） 村中議員の質疑についての保留がありました。準備ができましたので、答弁をお願いします。

町民課長。

○町民課長（富吉卓弥君） 村中議員の質疑に回答漏れがありましたので、お答えいたします。

町の指定ごみ袋についてですが、令和6年度購入分については、高密度ポリエチレン80%、炭酸カルシウム20%を材料とした大、中、小のサイズを合わせて52万枚発注しております。契約金額は737万6,600円、1枚当たり14円20銭となります。

令和7年度購入分については、高密度ポリエチレンが80、炭酸カルシウムが10%にバイオマスプラスチックというものを10%含め、強度を改善しております。大、中、小のサイズを合わせて56万枚発注しております。契約金額は873万4,000円で、1枚当たり15円60銭となります。

発注するサイズ、枚数によって価格変動はあると思いますが、その差は1枚当たり1円20銭ほど単価が上がっている状態です。

○議長（岡山義廣君） 5款労働費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 99ページの5款労働費について説明いたします。

労働費の予算総額は5万1,000円減の832万3,000円となりました。非常勤労働員の人件費が増となった一方、前年度計上していた支障木伐採業務や青少年ホーム舗装工事の完了により総額が減となりました。

説明は以上となります。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 5款労働費について質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで5款労働費の質疑を終わります。

次に、6款農林水産業費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 100ページからの6款農林水産業費について説明いたします。

農林水産業費の予算総額は2億135万6,000円で、前年度と比較して5,128万7,000円の増となりました。

1項農業費、1目農業委員会費は、前年度と比較して170万4,000円増の1,233万3,000円を計上いたしました。1節報酬の農業委員・農地利用最適化推進委員月額報酬244万5,000円とその下の上乘せ報酬189万9,000円は、例年農業委員分と農地利用最適化推進委員分に分けて計上しておりましたが、予算管理の簡素化のため、各委員の報酬の支払い実態に合わせ、定額の月額報酬分と前年度の

活動実績に応じて変動する上乗せ報酬分に分けて予算計上したものです。

101ページに参りまして、2目農業総務費は前年度と比較して578万5,000円減の2,445万7,000円を計上しました。主に人件費の減によるものです。

下段の3目農業振興費は、前年度と比較して1,172万1,000円増の3,021万5,000円となりました。

102ページをお願いいたします。7節報償費の地域おこし協力隊（鳥獣部門）活動奨励金は、熊等の出没が急激に増加していることから、鳥獣対策部門の地域おこし協力隊を新たに2名委嘱するための奨励金で、698万4,000円を計上いたしました。17節備品購入費のラジコン草刈り機は、鳥獣の出没が増加する中、安全に草刈り作業を行うために新たに購入するもので、146万1,000円を計上いたしました。18節負担金補助及び交付金の地域おこし協力隊（鳥獣部門）活動費は、新たに委嘱する2名の鳥獣対策部門の地域おこし協力隊の活動費を補助するもので、400万円を計上いたしました。

103ページに入りまして、地域おこし協力隊インターン事業は、希望者に2週間から3か月間の期間、就農部門の地域おこし協力隊の業務を体験していただき、地域おこし協力隊への応募や町の農作物のPR、農業者の労働力不足の解消につなげるための交付金で、108万円を計上いたしました。

104ページをお願いいたします。中段の2項林業費、1目林業総務費、12節委託料の林地台帳精緻化業務は、県の三八上北地域森林計画の林班図の変更に伴い、町林地台帳システムの更新を行うもので、384万3,000円を計上いたしました。守るべきナラ林ナラ枯れ防止業務は、近年、県全体で発生しているナラ枯れの進行防止を目的として、専門業者等へ指定したナラ林のナラ枯れ防止業務を県指定の単価で委託するもので、9万7,000円を計上いたしました。17節備品購入費の車載スピーカーは、鳥獣が出没した際の近隣住民への周知や、山火事防火パレードなどでの使用を想定して新たに購入し、取り付けるもので、16万1,000円を計上いたしました。

105ページに参りまして、2目柴崎地区健康レクリエーション施設管理費は、前年度と比較して3,625万6,000円増の5,356万4,000円となりました。1節報酬から10節需用費までは、柴崎地区健康レクリエーション施設が令和8年度に開催される第80回青森県国民スポーツ大会の関係者宿泊施設となっていることから、その対応のため、例年より増額して計上しております。

106ページをお願いいたします。14節工事請負費の拓心館スロープ改修工事は、腐食により使用不可となっているスロープの更新を行うもので、200万円を計上いたしました。オートキャンプ敷造成工事2,500万円と電源設備工事750万円は、昨年度作成した設計を基にオートキャンプ敷と電源設備を整備するものです。森林総合センター転落防止手すり改修工事は、建築物定期調査により指摘を受けた手すりの改修を行うもので、200万円を計上いたしました。エアコン設置工事は、令和8年度に開催される第80回青森県国民スポーツ大会の宿泊施設として最低限必要な設備として設置するもので、令和7年度の一般会計補正予算（第6号）で債務負担行為を設定した上で、今回448万2,000円

を計上いたしました。

3 項水産業費、1 目水産総務費は、前年度と比較して447万2,000円増の2,830万7,000円となりました。

107ページに参りまして、18節負担金補助及び交付金のホタテガイ親貝確保緊急対策補助金は、令和7年夏の高水温により陸奥湾ホタテの大量へい死が確認されているところですが、ホタテの稚貝を確保するため、1月から3月の産卵期に親貝の出荷を抑制することで生じる漁業者の損失に対し、陸奥湾沿いの市町村全体で支援することとしており、野辺地町分の110万円を計上いたしました。水産業緊急対策補助金は、例年計上しているちまきほたて稚貝事業費をホタテ養殖漁業者支援事業費と統合し、母貝確保や採苗器の購入などの費用を補助するもので、1,500万円を計上いたしました。

108ページをお願いいたします。2 目漁港・漁場整備費には、前年度とほぼ同額の4,191万4,000円を計上しました。18節負担金補助及び交付金の水産生産基盤整備事業負担金は県営事業負担金で、前年度と同額の4,000万円を計上いたしました。令和8年度は、防波堤や船揚げ場の改良などを予定しております。

以上、6 款農林水産業費について説明いたしました。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 6 款農林水産業費について質疑を行います。質疑ありませんか。

3 番、木戸忠勝君。

○3 番（木戸忠勝君） 103ページの3 目18節、農地規模拡大交付金、あと農地維持支払交付金、あと新規就農者経営支援助成金とあるのだけれども、これは昨年より減額されているのだけれども、減額された理由はどういう理由ですか。

○議長（岡山義廣君） 時間がかかるようであれば、保留にしましょうか。

産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

まずは、農地規模拡大交付金に関しましてですけれども、面積が減ったことによりまして交付金の減額をいたしました。

次の新規就農者の農業用機械導入でございますが、新規就農者、今年度は100万円、令和8年度も同額の100万円を計上しております。減っているわけではございません。

それから、最後の新規就農者経営支援助成金でございますけれども、これは対象者が減ったことによりまして減額しております。

以上でございます。

○議長（岡山義廣君） 10 番、大湊敏行君。

○10 番（大湊敏行君） 102ページの6 款1 項3 目7 節、地域おこし協力隊についてお伺いします。

国の方針で、これまでの任期3 年以下でありますけれども、最大5 年に延長可能とする特例が導

入されようとしております。新しく採用する地域おこし協力隊を含め、現在採用しております地域おこし協力隊にもこの延長を適用するお考えはありますでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

ただいまの件につきましては、まだ確定したわけではございませんので、国のほうで確定次第、検討してまいりたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 104ページです。12節委託料、守るべきナラ林ナラ枯れ防止業務でありますけれども、野辺地町のナラ枯れの現状はどの程度なのか。もしナラ枯れが起こった場合の対応策というのはどういうものがあるのか、その対応策にはどれぐらいの費用がかかるのかというのを教えていただきたいです。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

野辺地町内に、昨年の秋の調査時点での本数でございますが、愛宕公園と柴崎地区健康レクリエーション施設内にナラ枯れが16本あります。それを来年度、県の補助金を使いまして処分することになっております。1本当たり6,050円の予算ということになっております。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 106ページの2目14節、オートキャンプ敷造成工事、これ2,500万円、オートキャンプ場電源設備工事750万円、これ合わせると3,250万円なのですけれども、これというのは今年中にやらなければならない工事なのか、それと費用対効果を検討したのかお知らせください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

オートキャンプ場の造成工事でございますが、電源等を含めまして3,250万円予算計上させてもらっております。これは、昨年度実施設計を組んで、工事費確定しましたので、今年度これを工事いたしまして、森林センターの活性化につなげたいなというふうに思っております。

なお、費用対効果は、計算はしておりませんが、キャンプだけでなく、ほかのキャンプ施設、オートキャンプ場、とてもはやっておりますので、今は台数、4台程度でございますが、使い勝手がよければ徐々に増やしていくことも頭の中にございます。

以上でございます。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 私は、工事の最優先順位を考えたときに、統合小学校新築工事、これはやっぱり最優先にすべきだと思うのです。統合小学校が終わってからでも、これ工事を変更というか、

そういうふうに組み替えてもいいのかと思うのですけれども、町長の考えを伺います。

○議長（岡山義廣君） 木戸君、統合小学校の件と今のこの6款はちょっと兼ね合いが合わないの
で、違う質問をしてください。

3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） いや、だから3,250万円というのは結構大きな金額だと思うのです。だから、
工事の優先順位をもうちょっと検討されてもいいのかなと思うのです。どうでしょうか。

○議長（岡山義廣君） それは意見であって、要望でありますので、質疑でやるようにお願いしま
す。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 同じく106ページのオートキャンプ場に関する質問です。オートキャンプ場
を求める声というのはどれくらいあったのか、それに対応した対策なのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

毎年オートキャンプ場をつくる気はないのかという利用者からの声結構ございましたので、そ
れに少しでも応えたいなということで計上しております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 107ページです。一番下のところ、ホタテガイ親貝確保緊急対策事業費に関
連してお伺いします。

今朝の新聞に野辺地漁協が新たな取組をするという報道がありましたけれども、これに対しての
支援というのは考えていらっしゃいますか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

町として、今日の朝の新聞と、昨夜のニュースで御覧になった方も多いかと思いますけれども、
私が、役場がこの情報を得たのが数日前でございました。ですので、この件に関しましては、今す
ぐということはちょっとあれですので、年が明けてこの結果が出たら、そのときにまた漁協さんの
ほうで相談に来られると思うので、そのときに対応したいと思います。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 今、年が明けてとお話しされましたけれども、年が明けて、あるいは年度
が明けて、どちらでしょう。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） 大変失礼いたしました。年度が明けてからでございます。

○議長（岡山義廣君） 4番、村中玲子君。

○4番（村中玲子君） 106ページのオートキャンプのところですけども、私はぜひとも早く進めてもらいたいなと思っております。柴崎牧場の中のどの辺に計画しているのか。利用できる時期はいつ頃になるのか、もし決まっていたら教えていただきたいと思えます。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

場所でございますが、拓心館に向かしまして、左側にバーベキューハウスがあるのですが、その隣に三角形の結構広い面積の土地がございます。そちらを利用してやりたいと思っていました。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 先ほどの地域おこし協力隊の鳥獣部門の件ですが、猟銃の取扱いについての経験者なのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

男の方1名の方は、今もというか、今年度岩手県のほうで鳥獣のほうをやっている、ここ数年でイノシシ数百頭と、あと鹿とかその他も結構仕留めておりまして、経験豊富なハンターでございます。

先ほどの村中議員の質問で、ちょっとまだ回答していない利用時期でございますが、予算が成立しまして、4月になったら早々発注かけたいなと思っておりましたけれども、場所が場所で、工事の関係もございますので、今年度の開館中はちょっと厳しいのかなと思っておりました。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 100ページの6款1項1目18節の上十三地区農業委員会連絡協議会ですが、昨年度よりも大幅に予算が増額になっております。その理由をお知らせください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

この件に関しましては、昨年度まで旅費は別に盛っていたと思うのですが、農業委員会会長が全国会長会議に出席のため、上十三農業委員会のほうにまとめて支払うのですが、負担金と一緒に払うという形にしたものでございます。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで6款農林水産業費の質疑を終わります。

次に、7款商工費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 108ページ中段からの7款商工費について説明いたします。

商工費の予算総額は1億3,999万8,000円となり、前年度と比較して2,858万円の増となりました。

1項1目商工総務費は、前年度と比較して1,146万4,000円増の4,629万1,000円となりました。

109ページに参りまして、14節工事請負費のむらおこし物産加工施設冷媒設備更新工事は、施設内にある現在故障中のプレハブ型冷蔵庫をカワラケツメイなどの外販用食材の保管に利用するため更新するもので、160万円を計上いたしました。ロマン街路灯電源工事は、附属しているコンセントへの電源引込み工事を行い、街路灯への装飾を行いやすくするもので、280万円を計上いたしました。18節負担金補助及び交付金の町商工会地域総合振興事業は、町商工会への補助ですが、街路灯への電源引込み工事により、毎年度こちらに含まれていた電源工事分が不要となったことに伴い、前年度と比較して50万円減の250万円となりました。また、町商工会花火大会事業に100万円を計上しております。販売促進事業120万円は、令和5年度からの継続事業で、物価高騰などの影響で利用客が落ち込んでいる事業者に対し、PR費用や店舗の改修費用などを補助するもので、1店舗当たり最大40万円の補助を行うものです。

1項2目観光費は、前年度と比較して635万4,000円増の4,753万9,000円となりました。

110ページをお願いいたします。12節委託料の地域おこし協力隊コーディネート業務550万円は、地域振興分野の協力隊員の任用に関わる委託料で、報酬や活動費が主な内容です。観光パンフレット増刷業務は、令和8年度に開催される第80回青森県国民スポーツ大会において来場された方に配布するため増刷するもので、33万円を計上いたしました。17節備品購入費のヘッジトリマは、作業効率向上のため、既存の電源タイプから燃料式のものに更新するもので、9万円を計上いたしました。

111ページに参りまして、18節負担金補助及び交付金の町観光協会補助金は、人件費の増やパソコン及び会計ソフトの更新等により、前年度と比較して320万7,000円増の2,204万7,000円を計上いたしました。町観光協会特産品等PR事業は、町観光協会が地域おこし協力隊等と協働して観光特産品等のPRを行う事業への補助を新設したもので、266万3,000円を計上いたしました。のへじ特産品開発補助金は、これまでのへじ特産品販売促進事業において、東京都で開催されるイベント、青森人の祭典へ参加し、町特産品の販売、PR活動を行ってきましたが、昨今の物価高騰や出展衛生基準の厳格化、ホタテ不良の影響などにより効果的な販売活動が困難な状況となっているため、販売促進事業を廃止して特産品を使用した商品開発に注力するため、関係事業者や団体への補助金を新設するもので、100万円を計上いたしました。

3目スキー場費は、前年度とほぼ同額の377万3,000円となりました。

112ページをお願いいたします。4目海水浴場費は、労務単価上昇などにより海水浴場一部管理委託業務の委託費用が増加したことなどにより、87万円増の577万7,000円となりました。

5目愛宕公園費は、前年度計上していた桜植樹業務の完了などにより、138万5,000円減の568万

円となりました。

113ページに参りまして、6目地域資源活用費は前年度とほぼ同額の454万4,000円となりました。

114ページをお願いいたします。7目観光物産PRセンター費には、施設の管理、運営に必要な費用を計上し、前年度と比較し、1,091万円増の2,476万4,000円となりました。14節工事請負費のエアコン取付工事は、祇園まつりの休憩スペースとしても利用されている当施設を来場者が快適に利用できるようエアコンを設置するもので、900万円を計上いたしました。

8目元気のへじ事業費は、まちなか元気事業補助金として、新町、本町、下町、駅前の商店会が主催するイベントへの補助金を63万円計上しております。

9目消費者行政費は、上十三地区消費生活相談広域連携事業負担金の増額により、前年度と比較して47万5,000円増のちょうど100万円を計上いたしました。

以上、7款商工費について説明いたしました。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 商工費について質疑はありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 109ページの7款1項1目14節工事請負費のロマン街路灯電源工事ですけれども、これは現在100本ぐらいあるロマン街路灯全ての街路灯に電源を引き込むのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

今町内にある100基に電源をつけるものでございます。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） そのときに電源引き込んだ後に、100基に取り付けた後、例えば電気を使って装飾とかをした場合に、町からの電気料金の補助なんかは検討の余地ありますでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

この電源工事をやりますと、予算がついた場合、基本料金も発生するので、そちらに関しては補正のほうで対応したいと思っていました。

○議長（岡山義廣君） 2番、高沢陽子君。

○2番（高沢陽子君） 114ページ、13節、山車借上料10万円ということですが、これはPRセンターの入り口の上のほうに山車を載せる、以前は載っていましたけれども、山車が載っていました。先日行ってみましたら、山車はなくて、台だけありまして、その向かい側に写真パネルを貼ってありました。今度からそういう方式でやるのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

今年度は馬門組さんが最優秀賞になったのですが、馬門組さんのほうで山車は今まかど温泉さんのほうにお願いされて、そちらのほうに飾ってありましたので、今年度も写真だけの展示となっております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 114ページの14節工事請負費、エアコン取付工事とありまして900万円計上されていますが、工事の内容を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

このエアコンは、当然皆さん、一般の方、観光客が入ってきた1階の部分と、それから左側に行けば休憩室がございます。あと、2階のほうに会議室がございます。そちらのエアコンの取付けということにしております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 111ページ、7款1項3目17節のスキー靴の購入についてですが、そのほか含め、スキー靴やスキーやストックなども含め、この購入によって在庫どれくらい、十分あるのかどうか、それからレンタルの利用頻度はどれくらいなのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 社スポ課長、時間かかりますか。保留しておきますか。

社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） スキー靴につきましては、現在61足、在庫があります。ちょっと各サイズにばらつきがありますので、その数の補足という形になります。全サイズ4足以上を目指して、8年度購入予定となっております。

レンタルの貸し状況ですけれども、詳細は承知しておりませんが、持参していない方、スキーとかスキー靴を持っていない方に対して貸出しはしております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 8番、中谷謙一君。

○8番（中谷謙一君） 114ページの11節役務費の廃棄自転車処分料とありますけれども、これはPRセンターのところにある自転車置場に廃棄されている自転車ということでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

駅前に放置された自転車を森林総合センターの畜舎のほうに保管いたします。数年間保管した後所有者が現れなければ処分するという流れになっておりますので、この予算は来年度畜舎のほうでストックしてある古い自転車を処分するものであります。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

{「なし」の声あり}

○議長（岡山義廣君） これで7款商工費の質疑を終わります。

次に、8款土木費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 115ページ中段からの8款土木費について説明いたします。

土木費の予算総額は4億9,386万1,000円で、前年度と比較して3,179万7,000円の増となりました。

116ページをお願いいたします。2項1目道路橋りょう総務費、17節備品購入費の草刈り装置は、除雪車に装着し、路肩等の草刈りを行う装置で、現在使用しているものが経年劣化により応急修繕を繰り返しているため更新するもので、1,328万6,000円を計上いたしました。

117ページに参りまして、2目道路新設改良費、10節需用費の修繕料は、道路や側溝等の小破修理に対応するもので、500万円を計上いたしました。12節委託料の下水道管渠スクリーニング調査費は、14節の浜掛踏切埋設管渠埋立工事に先立ち、下水道管の内部を調査するもので、46万円を計上いたしました。14節工事請負費の浜掛踏切埋設管渠埋立工事は、下水道事業の廃止に伴い、JR敷地に埋設している管渠にモルタル充填するもので、1,500万円を計上いたしました。また、町道改良費には7,400万円を計上しております。

3目除雪対策費は、前年度と比較して1,039万9,000円増の1億4,305万9,000円となりました。10節需用費の修繕料は、除雪重機の老朽化による修繕費用として900万円を計上いたしました。

118ページをお願いいたします。12節委託料の除排雪作業は9,797万円を計上いたしました。13節使用料及び賃借料の除排雪機械は、主に排雪のための重機の借上料で、2,552万2,000円を計上いたしました。

下段の3項河川費、1目河川管理費は、前年度と比較して5,260万1,000円減の755万6,000円となりました。御手洗瀬川改修工事の完了が主な要因であります。

120ページをお願いいたします。5項都市計画費、2目公園管理費、14節工事請負費の中道ふれあい公園遊具更新工事は、コミュニティ助成事業を活用して老朽化した遊具を更新するもので、1,753万4,000円を計上いたしました。なお、助成事業に採択されなかった場合は再考することとしております。

3目街路事業費は、駅前広場の区画線設置工事に関わる費用など、合わせて760万9,000円を計上いたしました。

下段、6項住宅費、1目住宅管理費は、老朽化が進んでいる前平団地の台所換気扇改修工事に係る費用など、合わせて1,582万9,000円を計上いたしました。

122ページをお願いいたします。7項1目急傾斜地対策費、18節負担金補助及び交付金の急傾斜地対策事業負担金1,000万円は、前年度に引き続き上小中野地区を予定しております。事業主体は県で、

町の負担割合は20%であります。

以上、8款土木費について説明いたしました。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○議長（岡山義廣君） 土木費について質疑を行います。ページ数を言ってから質疑してください。質疑ありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 117ページ、8款2項1目18節です。日本道路協会の負担金が新規で載っております。予算計上することになった経緯を説明してください。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 質問にお答えします。

昨年国の河川国道事務所から、こちらの日本道路協会のほうの勧誘がありました。まず、情報提供とか要望事業、そちらのほうを主な事業としておりますので、野辺地町としても加入するという事で手続しました。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 117ページ、8款2項3目7節、土地借用謝礼です。昨年の3月議会でもちよっと議論になったと思うのですが、雪置場の借用地、謝礼がごみ袋で、町外の方は500円相当のタオルということで、今年度も同じものを計画しているのか、増額する、見直しする予定はないのか、それから借用地を増やす予定はないのか伺います。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 新年度の予算については、前年同様の内容となります。今後の報償費についてもこのままでいきたいと考えております。また、堆雪場の箇所数については、なるべくお借りできればというふうな考えでおります。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 117ページ、第3目除雪対策費について伺います。

青森市ではかなり問題になった除雪の問題ですけれども、野辺地町は順調に対策できたのか。今後除雪に対応する事業所が不足する可能性とか、この除雪対策について何か懸念事項があるのかどうか伺います。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 質問にお答えします。

今年度のまず除雪については、苦情の件数が約500件ほど来ております。なるべくは、苦情の来ないような除雪体制にできればなというふうな考えは持っております。ですが、さすがに雪国に住ん

でいる私たちですので、何らかのトラブルというのはありますので、そこはご了承願いたいとは思っておりますが、除雪業者の関係につきましても、令和7年度についてはこの工区できないとかそういう形もありまして、調整するのにいろいろ苦労いたしました。今後、オペレーターも高齢化しているということで、なかなか難しい状況ではあるとは思いますが、何とか事業者も増やせるように除雪のほうをしていきたいとは考えております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 除雪の事業者も、やはり高齢化ということで、少なくなってくるのかなと、私もそこは懸念しておりました。

提案になってしまうのか分かりませんが、例えば冬期間、手が空いているというか、農業従事者、トラクターを運転できる方は小型特殊も運転できるということで、車両系の免許を取れば除雪ホイールローダー、ちっちゃいやつは乗れるということで、そういった方をお声がけて、例えばタイヤショベルを貸出しするなり、町が確保して貸出しするなりということで対応することも一つの手かなと思いますので、ご検討いただければと思います。提案でした。

○議長（岡山義廣君） 要望でしょうか。

○11番（赤垣義憲君） 要望です。

○議長（岡山義廣君） 分かりました。

2番、高沢陽子君。

○2番（高沢陽子君） 120ページの2目公園管理費、14節、中道ふれあい公園遊具更新工事。これは毎年1,000万円を超える金額が計上されていまして、また今回もかなと、同じようなものなのか、なぜ毎年なのかと思うのですが、いかがでしょう。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課、五十嵐課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） お答えいたします。

毎年のようにこちらの中道ふれあい公園の遊具のほうを予算計上しております。財源として、コミュニティ助成を毎年考えております。そちらの採択によって、今までちょっとできなかったというようなこともありましたので、できる限り歳入のほうを確保して実施したいと思っておりますので、ご了承願いたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 8番、中谷謙一君。

○8番（中谷謙一君） 122ページの18節、負担金、急傾斜地対策事業費とありますが、これは恐らく三幸布団さんのところですよ。何年度の終了というか完了の予定なのか。それと、毎年度1,000万円ぐらいずつ、こういう負担金が発生するのか伺います。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） こちらの急傾斜地の事業であります、上小中野地区です。事業予定ですが、令和9年度まで一応予定しているということで県のほうから伺っております。事業費は、まず県のほうで事業を行いますので、そちらに対してのこちら負担金ということに毎年なっておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 121ページ、8款6項2目12節委託料の木造住宅耐震診断推進事業にちょっと関連して質問いたします。

現在野辺地町耐震改修促進計画案をパブリックコメント実施しております。度々取り上げさせていただきますが、パブリックコメントの手続実施規程には「政策等の案を公表するときは、併せて次に掲げる資料を公表するものとする」ということで3つ挙げております。現在の耐震改修促進計画案は、この附属資料が公表されていないと思います。規程違反に当たるのではないのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 今の大湊君の質問は、8款土木費の予算審議にあまり関係ありませんので、別の項目で質問するようにお願いします。

そのほか質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで8款土木費の質問を終わります。

次に、9款消防費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 122ページ中段の9款消防費について説明いたします。

消防費の予算総額は6億2,098万4,000円となりました。前年度と比較して1億8,090万2,000円の減であります。

1項1目常備消防費の18節負担金補助及び交付金は、北部上北広域事務組合の消防費負担金であります。前年度に計上した野辺地消防署救助工作車購入分の1億9,525万円が減となったことから、前年度と比較して1億4,810万9,000円減の5億2,851万1,000円となりました。令和8年度は、消防指令車の更新を行うこととしております。

2目非常備消防費は、消防団の活動費や、屯所及び団配備の消防車両などの施設の維持費であります。前年度と比較して、3,279万3,000円減の9,247万3,000円を計上いたしました。また、3年に1回、上十三地区消防協会北部上北協議会の連合観閲式の会場が野辺地町に回ってくるようになっており、その会場設営費等を若干計上しております。10節需用費の消耗品費1,103万4,000円には、消防団員が雨の中でも活動しやすくするための雨衣購入費853万6,000円が含まれております。

123ページに参りまして、12節委託料には浜町、八幡町、新道、新町地区を受持ち区域とする消防団第2分団の屯所新築工事に関わる費用199万7,000円などを計上いたしました。14節工事請負費

は、消火栓工事費として合わせて800万円、消防団第2分団屯所新築工事費として4,000万円を計上いたしました。17節備品購入費には、経年劣化が進んでいる消防団の分団旗購入費として227万8,000円を計上いたしました。

124ページをお願いいたします。18節負担金補助及び交付金の消防団員準中型自動車免許等取得は、近年免許区分が改正されたことにより、現在の普通免許で団員が消防自動車等を運転できないことの解消や団員数の維持確保を目的としたもので、120万円を計上しました。

以上、9款消防費について説明いたしました。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 消防費について質疑を行います。質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 123ページ、14節工事請負費の第2分団屯所新築工事4,000万円計上されていますが、これ坪単価はどれくらいになるのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（木明裕二君） ただいま資料を持っておりませんので、後ほどお答えしたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 124ページ。2目18節、消防団員準中型自動車免許等取得の補助なのだけでも、これ1団員、幾らの補助の予定ですか。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（木明裕二君） お答えいたします。

1人15万円、10分の10かかった分で、上限15万円ということで、8名分計上させていただいております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで9款消防費の質疑を終わります。

35分まで休憩します。

休憩（午後 2時23分）

再開（午後 2時35分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

◎答弁の保留分について

○議長（岡山義廣君） 赤垣議員の質問に対して発言させますので、お願いします。

○防災管財課長（木明裕二君） 答弁が漏れておりました件についてお答えいたします。

屯所は、建築面積62平米、約19坪ほどとなります。4,000万円の建築費ですので、坪単価にしますと210万円余りということとなります。これは、外構等を含めた全ての金額になります。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 次に、10款教育費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 124ページ中段からの10款教育費について説明いたします。

教育費の予算総額は15億4,713万4,000円で、前年度と比較して7億3,247万7,000円の増であります。

1枚めぐりまして、126ページをお願いいたします。12節委託料のスクールバス運転業務は、587万9,000円増の1,461万3,000円を計上いたしました。令和8年度は、長期継続契約の更新の年に当たり、契約前の予算額を計上していることが主な要因であります。校務支援システム454万7,000円は、業務改善及び教員の働き方改革に対応するものであります。

127ページに参りまして、2目事務局費、18節負担金補助及び交付金の野辺地高等学校魅力化推進事業費は、前年度に引き続き、各種資格の取得費、制服購入費、そして通学費用の一部を補助するもので、181万2,000円を計上いたしました。

3目小・中学校情報教育推進費は、前年度と比較し、6,581万2,000円減の2,372万1,000円を計上いたしました。前年度計上していた学習用タブレット6,277万7,000円や教職員用パソコン1,514万1,000円の減が主な要因です。12節委託料の情報セキュリティポリシー改訂業務は、文部科学省の教育情報セキュリティポリシーの令和7年度改訂への対応や校務支援システム導入を踏まえた改訂及び教員研修を行うもので、275万円計上いたしました。

128ページをお願いいたします。17節備品購入費のG I G Aスクール用認証機器は、令和2年度購入機器のサポート終了に伴い機器を更新するもので、691万4,000円を計上いたしました。

少し飛ばしまして、132ページをお願いいたします。2項小学校費、4目学校施設費、12節委託料の若葉小学校用地測量業務169万円及び16節公有財産購入費の若葉小学校用地231万円は、学校敷地の一部が国の管理する土地になっていることを解消するために計上いたしました。

5目小学校統合事業費は、前年度と比較し、6億3,355万8,000円増の7億4,848万2,000円を計上いたしました。12節委託料では、前年度に計上していた統合小学校新築工事等設計業務が減少し、統合小学校新築工事監理業務1,453万7,000円及び単価入替え業務428万2,000円を計上いたしました。

133ページに参りまして、14節工事請負費には統合小学校新築工事7億2,929万2,000円を計上しました。

3項中学校費、1目野辺地中学校費、1節報酬の非常勤労務員は、現在の再任用職員の任用が令和7年度で終了となるため、会計年度任用職員を任用できるように99万8,000円計上するものです。なお、3節職員手当等、4節共済費にも会計年度任用職員の関連経費を計上しております。

134ページをお願いいたします。2目教育振興費、1節報酬の学習支援員は、新たに中学校に校内教育支援センターを設置し、不登校傾向の生徒に対する学習支援や教育相談等を行うため、153万4,000円を計上するものです。なお、3節職員手当等、4節共済費に計上している会計年度任用職員関連経費に新たな学習支援員の分も盛り込んでおります。

136ページをお願いいたします。3目学校施設費、14節工事請負費のエアコン設置及び照明改修等工事350万円は、冷房設備のない相談室にエアコンを設置するとともに、中学校校長室及び職員室の照明を蛍光灯からLEDへ改修するものです。

4目地域クラブ活動推進費、18節負担金補助及び交付金について、中学校部活動の地域展開に当たり、受皿となる地域クラブの自主的かつ主体的な活動と指導者の確保、育成を図るとともに、生徒の地域クラブ活動への参加機会を確保するため、指導者を含む各団体及び参加者に対し補助金を支給するため、新規事業として126万円を計上いたしました。

138ページをお願いいたします。4項社会教育費、3目文化財保護費は、日本遺産をはじめとした歴史資源や文化財の発掘、保存、継承等に関わる経費として、総額381万3,000円を計上しております。

139ページに参りまして、4目中央公民館費は、前年度と比較して3,073万4,000円増の6,523万3,000円となりました。

140ページ下段から141ページ上段をお願いいたします。14節工事請負費について、気中開閉器更新工事は、耐用年数の15年を経過しており、経年劣化による故障のリスクが高いことから更新するもので、150万円を計上いたしました。また、舞台照明LED化工事及びLED化器具更新工事は、ホール舞台照明及びホール以外の館内の照明をLED化し、更新するための工事を行うもので、総額2,250万円を計上いたしました。

少し飛ばしまして、144ページをお願いいたします。144ページの7目歴史民俗資料館費、14節工事請負費の展示ケース内照明LED化工事は70万円を計上いたしました。資料館ホール・事務室空調工事は、冷房設備のない資料館へエアコンを設置することにより見学環境を改善するもので、180万円を計上いたしました。

145ページに参りまして、8目有戸地区学習等供用センター費、14節工事請負費の外壁塗装改修工事は、経年劣化している外壁等の改修を行うもので、前年度に設計業務が完了したため、今年度は

工事費として1,300万円を計上いたしました。

146ページをお願いいたします。5項保健体育費、1目保健体育総務費、18節負担金補助及び交付金の青の煌めきあおもり国スポ野辺地町実行委員会は、第80回国民スポーツ大会の開催に当たり、運営等に関わる経費を実行委員会で実施するための負担金として5,264万7,000円を計上しました。

2目学校保健費、10節需用費の消耗品費の小中学生の虫歯予防を図るため、フッ化物洗口液等の購入経費として、総額157万5,000円を計上しました。

147ページに参りまして、3目体育館費は前年度と比較して4,382万8,000円増の6,145万3,000円となりました。

148ページをお願いいたします。14節工事請負費の町立体育館競技場照明LED化改修工事は、現在使用している水銀ランプの生産終了に伴い、照明のLED化工事を行うもので、4,200万円を計上いたしました。

150ページをお願いいたします。6目まかどスポーツセンター費は、前年度と比較して181万6,000円減の551万5,000円となりました。馬門公民館移転検討業務の完了が主な要因となっております。

7目学校給食共同調理場費は、前年度と比較して1,309万8,000円増の1億1,997万5,000円を計上しました。

152ページをお願いいたします。14節工事請負費、照明器具LED化工事に800万円を計上いたしました。

8目えぼしグラウンド費は、体育施設として財産管理する都合上、科目を新設したもので、維持運営経費として総額67万円を計上いたしました。

以上、10款教育費について説明いたしました。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 10款教育費について質疑を行います。質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 127ページ、13節使用料及び賃借料の中の事務機481万8,000円というのは何を指すのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） 学校にあるプリンターですとか複合機のことになります。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 126ページの10款1項2目12節委託料です。前年度までは、高校生短期講座業務が委託料で計上されておりますが、今年度はもうやらないということによろしいのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

高校生短期講座は、令和2年度から実施してきました。しかし、年々この受講者が減ってきております。野辺地西高校さんの運動部の生徒さんも受講しておりましたが、やはり大会で忙しくなると参加できないということで、野辺地高校、西高校さん、合わせて受講者が減少している状況と、現在野辺地高校の魅力化支援事業も行っていますので、そちらに力を向けるということで、本年度で事業終了となります。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 136ページ、4目地域クラブ活動推進費についてお伺いします。

これ3項中学校費に計上されておりますけれども、地域クラブの活動に小学生も含めるという考えがあるのかなのか伺いたと思います。例えば吹奏楽の場合は、小中学校合同で大会に出場したりということがありますので、ほかのスポーツも含めて、中学校だけではなくて小学校も一緒にこういう活動を進めるという考えがあるか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） 今回の地域クラブに関してですけれども、あくまでも中学校の部活動を地域クラブに移行する、展開するという形になりますので、小学生は対象となりません。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） それは承知しているのですが、今後小学生も含めていくという考えがあるのかなのかお聞かせください。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） 今のところはございません。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 132ページ、10款2項4目16節、若葉小学校用地の購入なのですが、これはなぜ今購入することになったのか、その理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

今般の統合小学校建設、また若葉小学校の利活用を考える上で判明したものでございます。道路敷約350㎡ほどの国有地を賃貸借契約なしで使用していたということで、今回関係予算を計上しております。

○議長（岡山義廣君） 2番、高沢陽子君。

○2番（高沢陽子君） 129ページ、野辺地小学校費、17節の図書10万円と計上しております。これ

3年間ですか、ちょっと遡って見てみましたけれども、野辺地小学校が10万円、若葉小学校が17万2,000円、令和8年は若葉小学校は10万円となっておりますが、あと野辺地中学校は7万円と。図書の金額が毎年ほぼ同じで、これで子供たちに読ませたい、子供たちに読んでほしいという本がそろっているのでしょうか。基準もあるのだとは思いますが、もう少し増やしてもいいのではないかと思います。古い本、ぼろぼろになって、本が茶色になっているという声も聞こえていますので、新しい本をちゃんと買ってあげて、いい教育をとるか、ちゃんとやらえたらなと思いますが、その金額についていかがでしょう、毎年同じということで。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

金額が、学校ごとでまちまちではないかという状況はございますが、学校は学校規模において図書の充足率というものがございます。それぞれ、ほぼクリアはされておるのですが、それらの予算の違いといいますか、廃棄している本もございますが、ここ数年、図書券ですとか、有志の方からのご寄附というものがございます。それを活用しながら図書を購入している状況もございます。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 146ページの18節負担金補助及び交付金の中の青の煌めきあおもり国スポ野辺地町実行委員会補助金、この主な使い道、内容をお聞かせください。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） お答えします。

主な使い道ですけれども、まず大会に関する運営費があります。それと、5月の24日に強化イベントがあります。それに要する運営費と、あと9月の4日から7日までに野辺地高校さんで大会を開くのですけれども、そこでおもてなしの事業を考えております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 様々運営費ということですが、この運営費の中で人件費の割合というのはどれぐらいになるのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） すみません、ちょっと時間下さい。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 145ページの10款4項8目17節です。午前中も質疑させていただきましたAEDの単価がほかと違います。理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） 単価が違う理由は、うちのほう、新規で有戸地区学習等

供用センターのほうに設置します。その箱代が含まれておりますので、ほかの介護・福祉課との差が生じているかと思えます。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 143ページ、10款4項6目17節にサインスタンドがあります。使用目的、活用方法、求める成果などをお聞かせください。

○議長（岡山義廣君） 大丈夫ですか。

中央公民館長。保留にしておきます。

○中央公民館長（二木智徳君） 資料のほう、ちょっと今探して、後でお願いします。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 134ページ、10款3項2目1節、学習支援員についてです。校内教育支援センター、来年度新たに設置ということなのですが、こちらの目的は不登校生徒の支援や、早期の発見と早期の支援、それを目的としているものだと認識しております。安心して学べる環境を提供するために、現在どのような環境整備を計画しているのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課指導室長。

○学校教育課指導室長（濱田健太郎君） 野辺地中学校に校内教育支援センターを設置することですが、簡潔にご説明しますと、子供たちへの個別の学習支援、困り事に対しての教育相談、在籍学級との給食や掃除などでの交流の調整、教科によって協働で学ぶ場の支援など、生徒が安心して自分のペースで生活し学習し、教室に戻れるように支援していくことを考えています。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 1番、横浜睦成君。

○1番（横浜睦成君） 教育費全般にわたってなのですけれども、ピアノの調律料、野小が1万5,000円、若葉は2万9,000円、野中が7万円、公民館1万8,000円、この差額というのはどういふことでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） 学校の分でお答えいたしますと、金額の小学校、中学校の違いというものは、台数によるものとなります。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 先ほどの大湊議員の質疑とかぶるかもしれませんが、134ページの1節報酬の学習支援員、これ中学校に置くということですが、これまで勤労青少年ホームにあった、そういう役割を中学校に移すということでしょうか。それとも、勤労青少年ホームにはそのままその部署を残すのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課指導室長。

○学校教育課指導室長（濱田健太郎君） 町の教育相談室は、今勤労青少年ホームにございます。それは、今学校になかなか来られない子が通っていますので、そのまま令和8年度も継続します。令和8年度、新たに中学校に設置するのは新しい取組になります。

以上です。

◎答弁の保留分について

○議長（岡山義廣君） ここで質問において保留していた答弁の準備ができました。発言させます。
社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） 先ほど赤垣議員が質問されました人件費につきましては40万円余りとなっております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 151ページ、10款5項7目10節の需用費のことで、給食費の無償化事業に関してなのですが、材料費が4,500万円計上されておりますが、県の補助金は3,400万円ほどになっております。この差額等を町が負担されるのかということと、あと今国のほうで4月から公立小学校の給食費実質無償化を実施する予定であると思っておりますので、例えば国からお金が来たときにどういうふうに対応していくのか、その辺も含めて説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

今回歳入のほうで3,436万円ほど国庫補助があるということで計上しておりますが、先般新しい情報が入りまして、国、県から来る補助金は4,159万円余りとなります。その交付単価も1食、小学生で330円、中学生で360円ということで示されております。そして、町のほうでは、これから物資の単価の状況が見えてきますので、そちらを勘案しながら、子供は給食無償化でいいのですが、教職員ですとか、あとセンターに従事している方の給食費のこともありますので、適正な給食費単価、条例改正等で考えていきたいと思っております。

◎答弁の保留分について

○議長（岡山義廣君） ここで質問について保留していた答弁の準備ができました。発言させます。
中央公民館長。

○中央公民館長（二木智徳君） 先ほど大湊議員からの図書館の備品でサインスタンドの購入につ

いてのご質問にお答えいたします。

こちらのほう、図書館事業の行事などをお知らせする掲示板に当たります。

以上です。よろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 136ページの10款3項4目18節、地域クラブ活動費ほかの補助金なのですが、これ活動計画や会計報告などの取決め事を関係者全員で共有し、皆が納得してから地域移行を進めていく必要があると思います。生徒や保護者の説明会も必要ではないか。補助金の詳細等を一覧表にまとめ、それを関係者含め、町から情報を発信するというような計画は立てておりますでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） この事業を始める前に、教育委員会と各クラブとか部活動の指導者と併せて懇談、打合せを実施しております。

今後につきましては、連絡調整会議という形で8年度以降開催していく予定となっております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで10款教育費の質疑を終わります。

次に、11款災害復旧費について、科目存置なので、説明及び質疑は省略します。

次に、12款公債費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） 153ページ、12款公債費について説明いたします。

総額では6億8,681万円となり、前年度と比較して6,945万8,000円の減となりました。

1目元金は6億3,049万6,000円で、前年度と比較して8,757万3,000円の減となりました。償還件数の減が主な要因であります。

2目利子は、長期債約定償還利子が5,381万4,000円、一時借入金利子が250万円の総額で5,631万4,000円となり、前年度と比較して1,811万5,000円の増であります。近年、借入れ利子が増加傾向にあることに加え、新庁舎建設に関わる町債の令和6年度借入れ分の利子の増が主な要因であります。

以上、12款公債費について説明いたしました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 12款公債費について質疑を行います。質疑はありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 153ページ、12款1項1目で特定財源のその他が7,135万6,000円になってお

りますが、これの内訳を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） お答えいたします。

元金、7,135万6,000円ですが、こちらは水産基盤整備事業分担金、漁協さんからの分が35万5,000円、学校建設基金繰入金が408万円、庁舎建設の基金繰入れが6,692万1,000円となります。利子のほうが5,381万4,000円ですが、水産基盤整備事業分担金、こちらは211万1,000円、学校建設基金繰入金が7万9,000円、庁舎建設基金繰入金が1,354万8,000円となっております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 2目の利子についてお伺いします。

金利の上昇、この頃上昇してきているということで、利率が見直されたりしているところでありますがけれども、今まで借入れした、要は起債した分の元金に対してかかっている利息は固定なのか、利率の変動によって支払う利息も変動して増減するのかお聞かせください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） お答えいたします。

借入れしている地方債のほとんどは、固定金利の政府系の資金になります。一部の民間の銀行等から借り入れた分については、上昇時期に固定金利で低いまま抑えるというのはなかなか難しいので、利率見直し方式というものが一部取られています。多分割合で言うと5%程度の資金になると思います。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで12款公債費の質疑を終わります。

次に、13款諸支出金及び14款予備費について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西館峰夫君） 154ページの13款諸支出金から155ページの14款予備費まで説明いたします。

13款諸支出金の総額は2億5,812万5,000円となり、前年度と比較して5,245万4,000円の増となりました。

1項基金費は、各基金へ積立金を計上しておりますが、預金利子の上昇により発生利子分を積み立てる分、前年度に比べ、全体的に増加しております。

2目減債基金費は、国の地方財政対策において、令和8年度の普通交付税に臨時財政対策債償還基金分として、平成19年度から平成22年度分の臨時財政対策債発行可能額の4.5%程度が措置される旨示されたため、前年度と比較して4,527万8,000円増の4,534万8,000円を計上いたしました。

3目学校建設基金費は、原子力立地給付金相当分のうち、8,000万円を統合小学校建設事業分として積み立てることとし、前年度と比較して66万2,000円増の8,073万9,000円を計上いたしました。

7目役場庁舎建設基金は、原子力立地給付金相当額のうち、統合小学校建設事業分として積み立てる8,000万円を差し引いた残額を庁舎建設に関わる地方債の償還に充てていくこととし、4,582万6,000円を計上いたしました。

9目森林環境譲与税基金費は1,488万3,000円を計上いたしました。積み立てられた基金は、森林の整備や木材利用の促進などの使途に沿った事業に充てることとしております。

155ページに参りまして、11目電源立地地域対策基金費は6,015万1,000円を計上いたしました。積み立てられた基金は、消防活動事業など国に申請している事業に充てることとしております。

14款予備費には1,000万円を計上いたしました。

以上、13款から14款まで説明いたしました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 13款諸支出金及び14款予備費について質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで歳出予算の質疑を終わります。

次に、予算書12ページから15ページまでの第2表、継続費から第4表、地方債について、企画財政課長から説明を求めます。

企画財政課長。

○企画財政課長（西舘峰夫君） それでは、第2表、継続費から第4表、地方債について説明いたします。

予算書12ページをお願いいたします。第2表、継続費であります。10款教育費、2項小学校費の統合小学校新築事業費（統合小学校工事、関連工事及び工事監理業務）は、総額53億7,981万6,000円であります。令和8年度から令和11年度にかけて実施するため、継続費を設定するものであります。

13ページに参りまして、第3表、繰越明許費であります。2款総務費、1項選挙費、県議会議員通常選挙費について、令和9年4月29日任期満了により執行される選挙となりますが、その業務の一部が令和9年4月に完了する見込みであることから、繰越明許費の設定を行うものであります。

14ページをお願いいたします。第4表、地方債であります。令和8年度に予定しております地方債の借入れについては、歳入で説明申し上げましたが、財務会計システム改修事業など、件数で32件、金額にして11億5,590万円となります。地方債の種別ごとに申し上げますと、一般単独事業債が6,880万円、過疎対策事業債が10億8,710万円を予定しております。臨時財政対策債は、地方財政計画において令和8年度分は発行予定なしと示されているため、計上しておりません。なお、利率は年6%以内としております。

説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 第2表、継続費から第4表、地方債について質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで質疑を終わります。

◎動 議

〔「議長」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 予算の全ての質疑が終わったと思いますので、ここで修正予算案を提出したいと思います。よろしくお願いします。

○議長（岡山義廣君） これから11番、赤垣君に修正案を提出願いたいと思いますので、暫時休憩します。

休憩（午後 3時13分）

再開（午後 3時14分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

本案に対しては、11番、赤垣君からお手元に配りました修正の動議が提出されました。

したがって、これを本案と併せて議題とし、提出者の説明を求めます。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） まず、お話ししたいのは、子供たちの安心安全が必要ないということは全く考えておりません。少しでも早く安心安全を確保することの重要性も十分に理解しております。子供たちの安全を確保する手段は、小学校新築だけでしょうか。ほかの手段は、十分に検討されてきたのでしょうか。教育関係者や町民等で発足した統合小学校新築事業検討委員会の初回会議での冒頭で、委員長は小中一貫校は検討しない旨の発言をされたと記憶しております。その時点で、統合小学校新築以外の手段は検討されずに現在に至っていると考えます。

私は、出生数の著しい低下による子供人口の減少を鑑みれば、この先は小学校と中学校を統合して小中一貫教育に移行することを検討する必要があると考えております。小中一貫校に移行した学校の関係者に話を伺うと、子供たちが変わってきた、特に上級生が下級生に優しくなった、面倒見がよくなったなどという声が多数聞かれました。これを見ても、小中一貫教育を検討する大きな材料になるのではないのでしょうか。

統合小学校新築事業計画は、供用開始年度の見込み児童数に合わせた小学校を建設することとしておりますが、その数年後には現在の出生数減少の影響が始め、半分か空き教室になることは想

定していると思います。

小学校の建設に目が向いてしまいがちですが、町の公共施設の老朽化も考えなければなりません。特に公立野辺地病院については、野辺地町も多額の負担金を支出している自治体であり、病院更新についてはしっかりと検討しなければならないと思っています。ほかにも給食センター、町立体育館、勤労青少年ホーム、公民館、温水プール施設、ごみ処理施設、斎場など、多額の費用を要する案件が目の前に存在します。

町全体の人口減少が進む中において、町の大きな財源である町税や地方交付税をはじめ、庁舎建設や小学校建設の財源としている原子力立地給付金も減少していく可能性が高いと推察します。町の人口は、2050年には6,000人を下回る可能性があるとの推計も報道にありました。小学校新築1つに注目するのではなく、ほかの施設の更新等も同時に検討し、財源の確保や更新スケジュールを考えることが今必要なことであると考えことから、議員の皆さんにもいま一度考えていただきたく、統合小学校新築事業の見直しを求める考えを示し、令和11年度までの予算が約束される継続費及び資料にあります継続費、令和8年度分に当たる歳入歳出を削減することを提案いたします。

以上です。

○議長（岡山義廣君） これから修正案に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 質疑の前に、この資料、私今初めて頂きました。熟考の時間をぜひいただきたいのですが。

○議長（岡山義廣君） 時間、どのくらい必要ですか、大湊君。10分ぐらいでよろしゅうございませうか。

○10番（大湊敏行君） はい。お願いします。

○議長（岡山義廣君） それでは、3時30分まで休憩します。

休憩（午後 3時19分）

再開（午後 3時29分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

ほかに質疑ありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） この修正案ですけれども、歳入のほうの13款、17款、20款のそれぞれの変更分の差額を足した数字と歳入合計の差額が異なっているように私は電卓をたたいたのですが、この辺は大丈夫でしょうか。

○議長（岡山義廣君） 今の質問に対して。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 少し確かめさせていただきたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 赤垣議員、休憩取りますか。

〔「はい」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） では、暫時休憩します。

休憩（午後 3時31分）

再開（午後 3時41分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 大変お待たせして申し訳ございません。資料の2枚目の、1枚目にもあるのですが、町債の部分が何の地方債を充てるのかという詳細が不明のため、学校建設関連の町債を削除しております。この内容については、可決いただいた暁には執行部のほうで調整していただくこととなるかと思えます。いずれにしても、歳入歳出合計がこれで変わりはありませんので、間違いではないと言えらると思えます。

○議長（岡山義廣君） 説明が終わりました。質疑ありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 資料をめくったところのページの一番最後に、第2条を削り、第3条を第2条とし、第4条から第6条までを1条ずつ繰り上げると書いてあります。この中の第4条の地方債の中に統合小学校新築事業に関する項目も入っておりますが、これは削除しないのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） このとおりで大丈夫かと思えます。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 歳出のほうで、小学校建設、小学校統合事業費の中にはほかにも単価入替え等の項目があり、総額は465万3,000円になります。それから、小学校と一緒に新築する予定である児童館の単価入替えのほうは64万2,000円計上されています。合計の529万5,000円、これは減額せずにこのまま執行してよろしいのか、無駄なお金にならないのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） ほかの計上されている予算については、要は執行されなければ不用額として残るという考えです。

○議長（岡山義廣君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

まず、原案に賛成者の発言を許します。

3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 今回提出された令和8年度予算案、統合小学校新築工事についての賛成討論を行います。

統合小学校建設工事は、私は必要だと考えます。理由として、1つ、耐力度調査の結果、構造上危険な状態にある建物との結果が出ており、万が一大きな地震があったときに児童が被災するおそれがあることから、速やかに小学校建設を進めるべきであります。

2点目として、現在町では令和8年4月中旬の文科省国庫補助内示を待っている状況だが、採択された場合、補助金交付は町の財源確保が前提となるので、現時点では採択された場合のことを考えて必要な予算であります。

3点目として、先生、保護者、議会代表、町民公募から成る検討委員会が令和5年から現在まで23回の会議を重ね、現在の会議となっています。また、児童や保護者にも統合小学校の完成時期を示しており、大いに期待しているところから、早期に建設工事を着手するべきです。

このように統合小学校建設工事を速やかに実施すべきだと考えるので、関係経費が計上された予算案に賛成するものであり、以上、賛成討論であります。

○議長（岡山義廣君） 次に、原案及び修正案に反対者の発言を許します。ありませんか。原案及び修正案、この2つともに反対者の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） ないようですので、次に原案に賛成者の発言を許可します。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） まず、この修正案は第4表を残すというふうに先ほどの質疑で答弁されました。これは、その地方債の中に統合小学校新築事業という項目がありますので、書類的には不備ではないかということが1つ。

それから、午前中の町側の答弁でもありました現在統合小学校を建設するために国庫補助金の採択を待っているところです。小学校建設のための国庫補助金を得る機会を議会自らが放棄する行為は行ってはならない、そう考えております。

したがって、この当初予算には原案に賛成いたします。

○議長（岡山義廣君） 次に、修正案に賛成者の発言を許します。修正案の賛成者。

9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） 修正案に賛成の立場で発言させていただきます。先般行われた統合小学校建設特別委員会の中でも申し上げましたが、今の段階でこの予算案を可決してしまえば、反対の立場ではこの予算書に賛成するわけにはいきません。なぜならば、今この予算案が通ってしまえば、町の未来に関わる重大な案件だと思います。先ほど原子力立地給付金がどうかこうとかという、それ以前の問題になりかねませんので、私は修正案に賛成いたします。

○議長（岡山義廣君） ほかに討論はありませんか。ないですか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで討論を終わります。

これから議案第10号の採決を行います。

まず、本案に対する11番、赤垣君から提出された修正案について起立によって採決します。

本修正案に賛成の方は起立をお願いします。

〔賛成者起立〕

○議長（岡山義廣君） 起立少数です。

したがって、修正案は否決されました。

次に、原案について起立によって採決します。

原案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（岡山義廣君） 起立多数。

したがって、議案第10号は原案のとおり可決されました。

◎散会の宣告

○議長（岡山義廣君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

（午後 3時50分）

